

トラックスケール・インジケータ

AD-4352

取扱説明書

AND 株式会社 **エー・アンド・ティ**

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、
(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2018 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

1	はじめに.....	5
1-1	概要.....	5
1-2	使用上の注意.....	5
2	本体仕様内容.....	6
2-1	基本仕様.....	6
3	本体構成.....	9
3-1	フロントパネル.....	9
3-2	リアパネル.....	10
3-3	サイドパネル.....	11
4	計量モード.....	12
4-1	スタート画面.....	12
4-2	計量画面.....	13
4-3	計量の種類.....	15
4-4	1回計量.....	18
4-5	2回計量.....	20
4-6	計量伝票印字.....	22
4-7	空車、総重ボタンのみでの印字.....	23
4-8	コントロール I / O.....	24
4-8-1	コントロール入力.....	24
4-8-2	コントロール出力.....	24
4-9	補正の入力及び読出し.....	25
4-9-1	補正入力.....	25
4-9-2	補正登録の読出し.....	27
4-10	計量伝票発行時の集計機能.....	28
4-11	車番の入力方法.....	29
4-12	コード番号の入力方法.....	30
4-13	過積載.....	31
4-14	2スケール仕様.....	31
5	メニューモード.....	32
5-1	伝票.....	33
5-1-1	伝票再発行.....	33
5-1-2	伝票一覧印字.....	34
5-1-3	伝票削除.....	35
5-1-4	伝票追加発行.....	38
5-1-5	伝票データのUSBメモリへの出力.....	39
5-2	滞留車.....	41
5-2-1	滞留車変更.....	41
5-2-2	滞留車発行.....	42
5-2-3	滞留車一覧印字.....	44
5-2-4	滞留車削除.....	44

5-3	集計	45
5-4	車番登録	47
5-5	名称登録	48
5-5-1	新規名称登録	52
5-5-2	名称登録変更	56
5-5-3	名称登録一覧印字／削除	56
5-5-4	コード番号0の登録	56
5-5-5	J I S第二水準一覧表示	57
5-6	補正登録	57
5-6-1	重量範囲単価	59
5-7	保守	60
5-7-1	日付時刻設定	60
5-7-2	基本機能設定	61
5-7-3	計量機能設定	62
5-7-4	音声ガイダンス	64
5-7-5	保守情報	65
5-8	データの保存・読込	66
5-8-1	USBメモリへの保存	66
5-8-2	USBメモリからの読込	68
5-8-3	SDカードへの保存	69
5-9	ICカードへの登録	71
5-9-1	ICカードへの車番データの登録	71
5-9-2	ICカードを使用した無人計量のための登録	73
5-9-3	ICカードへの書込みデータの確認	76
6	印字例	78
6-1	伝票印字	78
6-2	レーザープリンタによる伝票印字	82
6-3	一覧印字	83
6-3-1	伝票一覧印字	83
6-3-2	滞留車一覧印字	84
6-3-3	車番登録一覧印字	85
6-3-4	名称登録一覧印字	86
6-3-5	補正登録一覧印字	87
6-4	集計印字	88
6-4-1	掛け合わせ1つ	88
6-4-2	掛け合わせ2つ	89
6-4-3	掛け合わせ3つ	90
7	エラーメッセージ	91
7-1	起動時のエラーメッセージ	91
7-2	計量伝票発行時のエラーメッセージ	91
7-3	登録時のエラーメッセージ	92
7-4	時計バックアップバッテリー交換のメッセージ	93
8	音声ガイダンス	94
9	外観図	95

1 はじめに

1-1 概要

本器AD-4352は、12.1インチカラー液晶タッチパネルを採用した、アナログロードセル対応のトラックスケールインジケータです。

画面表示にカラー液晶を使用し、見やすく長寿命で対話形式により、操作しやすくなっています。また、音声ガイダンスを標準装備しているため、車両の乗車や計量操作のサポートを、音声で促すことが可能です。

外付けの伝票プリンタは、以下の2種類をオプションで用意しています。

- ・AD-4352-30 Aタイプ：カード式プリンタ（単票）
- ・AD-4352-31 Bタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

オプション以外でも、以下の3種類のプリンタで伝票発行可能です。

- ・Cタイプ：幅広ドットプリンタ（連続紙） VP-D500(EPSON製)
- ・Dタイプ：サーマルプリンタ NEX-T3202(日本プリメックス製)
- ・BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙） MPT-111ES(ナダ電子製)

お客様でご購入の上、使用してください。

※本取扱説明書はソフトウェアバージョン Ver3.00 以降に適用されます。

1-2 使用上の注意

- 本器は精密電子機器のため、取り扱いには充分注意してください。
- タッチパネルは指先で操作するため、手袋などは外してください。
また故障の原因となるボールペンやシャープペンなど、先端が固いものやとがったものは使用しないでください。
市販のタッチペンの利用は可能ですが、強く押し付けてこするような故障や破損の恐れがある使い方は、しないでください。
- 使用温度範囲は0℃～40℃以内です。本器、及び伝票プリンタは直射日光のあたらない場所に設置してください。特にカード式プリンタは、用紙の有／無を検出するフォトセンサーが、誤動作する原因となります。
- 使用する電源は誤動作を避けるため、安定した電源をご使用ください。
不安定な電源（瞬停やノイズを含むもの）を使用すると、誤動作する恐れがあります。
- ロードセルからの出力電圧は非常に微弱です。接続するケーブルは、パルス成分を含むノイズ源の影響を避けるため、できるだけ離してください。
- 伝票用プリンタは外付けとなります。付属のシリアルケーブルで接続してください。
プリンタの仕様内容はカード式（単票）／発行式（連続紙）、それぞれのプリンタの取扱説明書を参照してください。
- 取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車重量、正味重量、また補正機能を有するときにはその補正内容（水分補正）など、印字データが何を示すのかが明確に印刷された用紙を必ずご使用ください。
- 本器は、トラックスケール用インジケータなので、単価を使用して計量伝票に金額を印字することは問題ありませんが、料金はかりなどの指示計には使用できないことを留意してください。
- USBテンキーは計量画面で計量伝票を発行する目的でのみ使用してください。他の画面での動作は保証できません。

2 本体仕様内容

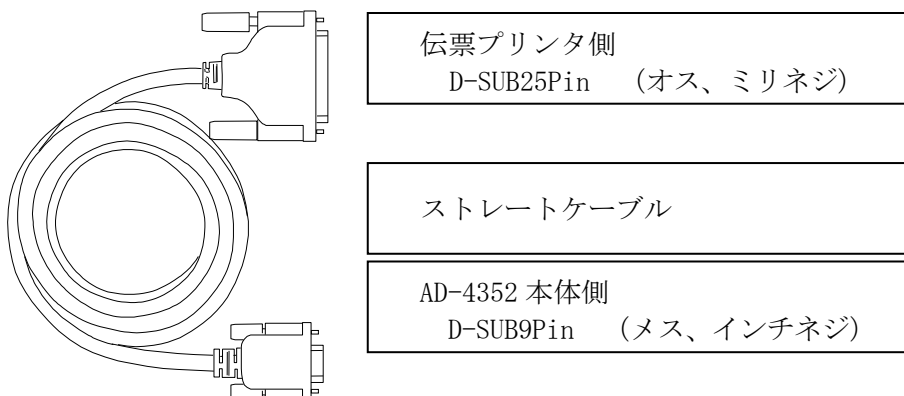
2-1 基本仕様

一般仕様		
電源電圧	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	本器のみ フルオプション 約 30VA	
時計機能バックアップ電源	データ保持期間 約 10 年 (コイン電池使用)	
使用温度	0°C~40°C	
使用湿度	85% R.H. 以下 (結露なきこと)	
質量	約 4.3kg (指示計スタンド付フルオプションにて)	
外形寸法	324(W)×105(D)×262(H) mm	
スタンド	標準装備	
表示部		
パネル種類	TFT カラー液晶	
画面サイズ	12.1 インチ	
解像度	800×600 (SVGA)	
バックライト	LED	
計量値表示部	5 桁表示 文字寸法：23mm(H)×15mm(W)	
輝度半減期	約 5 万時間	
タッチパネル	4 線式抵抗膜方式	
メモリ		
日計元帳件数	10000 件	内蔵フラッシュメモリ
車番登録件数	4000 件	
項目名称登録件数	4000 件×4	
補正登録件数	1000 件×3	
滞留車件数	500 件	
音声ガイダンス		
標準装備		
付属品		
AC 電源ケーブル (1K0115)	1 本	
設置アダプタ (1ET9102)	1 個	
ヒューズ (1FSEAK-3.15A)	1 個	
ロードセル用コネクタ (1JMNR-207-PM)	1 個	
カレント出力コネクタ (1JATCP0576)	1 個	
入出力用コネクタ (コネクタ：1JI361J024-AG、コネクタカバー：1JI360C024-B)	1 個	
RS-422/485 (D-SUB9Pin：1JA17JE-23090)	1 個	
SD カード(128M)	(出荷時に本体装着済み)	
取扱説明書 (本書 1 部)		

オプション	
AD-4352-01	増設 AD ボード
AD-4352-03	RS-232C
AD-4352-09	カレントループ入力
AD-4352-30	カード式プリンタ (単票) 接続ケーブル * 1 プリンタ本体 : EPSON : TM-U590AC アダプタ : PS-180 AC 電源ケーブル : 1K0115
	外形と質量 252 (W) × 266 (D) × 185 (H) mm 約 5kg 消費電力 70VA
AD-4352-31	発行式プリンタ (連続紙) 接続ケーブル * 1 プリンタ本体 : スター精密 : SP322SSD40-100J1
	外形と質量 175 (W) × 303 (D) × 196 (H) mm 約 3.1kg 消費電力 60VA
AD-4352-32	USB-テンキー
アクセサリ	
インクリボン	カード式プリンタ : AX-ERC-31B-S (5 本) 発行式プリンタ : AX-RC300P-S (5 本)
パンチカード (18 桁)	AX-B43658A-S : 50 枚セット)
I C カード	(AX-HSEEULV1001 : 50 枚セット) ※カード規格はマイフェア U L (ウルトラライト)
I C カードリーダー/ライター	(AS-RC-S380S) ※市販の RC-S300 (SONY 製) も使用可能です。(Ver3.03 以降)
集計・登録印字用 白紙用紙	カード式プリンタ : 市販の白紙用紙 (A4) などのご購入による対応をお願いします。 発行式プリンタ : AX-PP153 (1 束)

※ 1 接続はプリンタに付属のシリアルケーブルで接続か、市販のケーブルをご利用ください。
(オプションのプリンタに付属するシリアルケーブル型番 : AX-KO1710-200)
Cタイプ、Dタイプにおいても同様のケーブルが使用可能です。

プリンタ接続ケーブル仕様



※注意

B Nタイプはメーカー指定の専用ケーブルを使用する必要があります。
これと合わせて、さらに 9 Pシリアルリバースアダプタが必要になります。

※2 Dタイプ（サーマル）プリンタでの伝票発行に使用する用紙は、以下の条件を満たす市販の感熱紙をご使用ください。

（使用する感熱紙の条件）

用紙幅： 80 mm

用紙厚： 55～88 μ m

最大外径： ϕ 83 mm

軸芯内径： ϕ 12.0 mm

軸芯外径： ϕ 18.0 mm

（推奨感熱紙）

PD190R： 中保存

PD170R： 高保存

PD160R： 超高保存

上記のいずれも王子製紙製

上記の感熱紙及びそのロールの寸法は以下の通りです。

幅 80 mm × 外径 80 mm × 内径 12 mm

長さ： 65 m

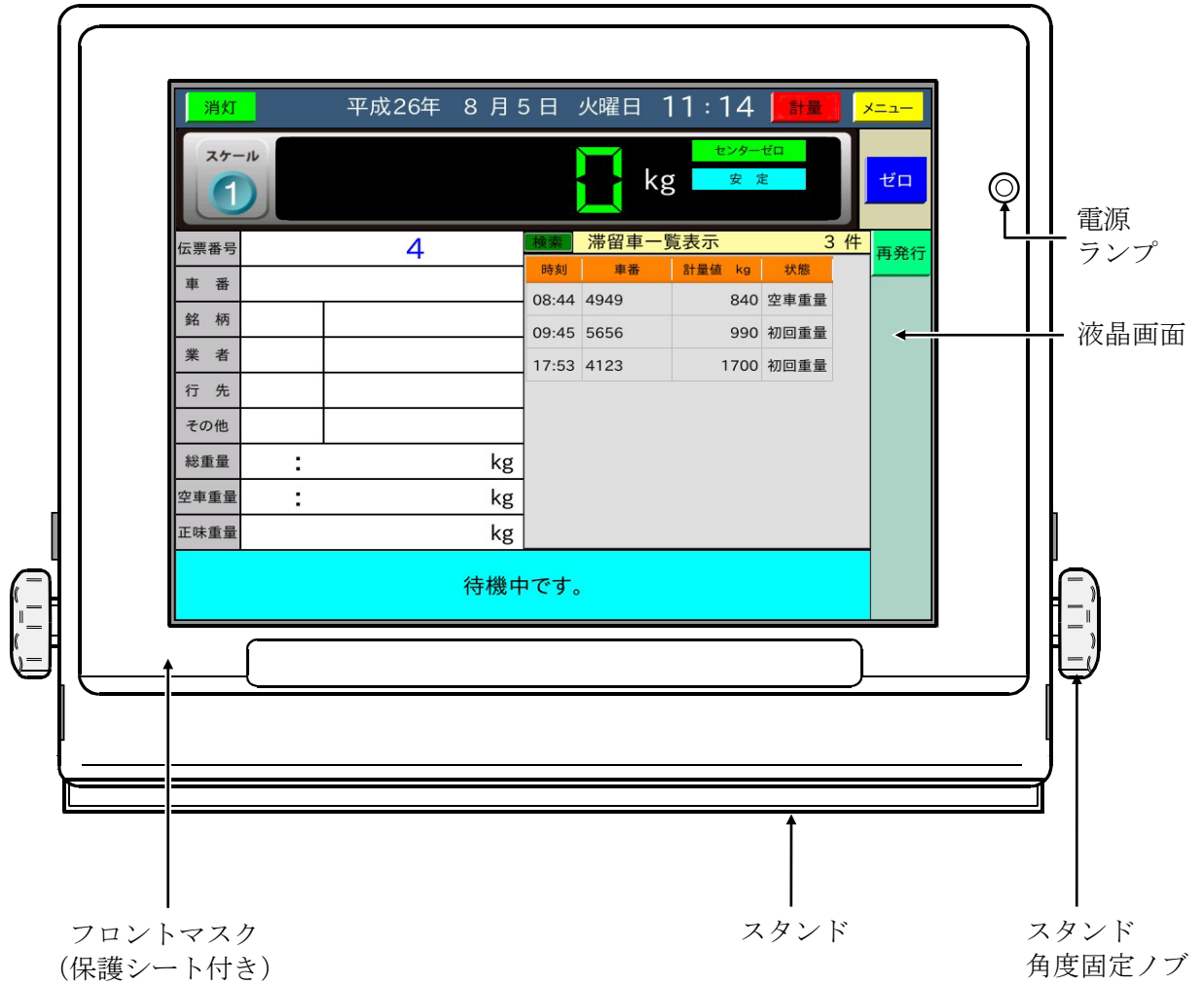
厚さ： 75 μ m

※使用する感熱紙には、中保存タイプ以上のものをご使用ください。

3 本体構成

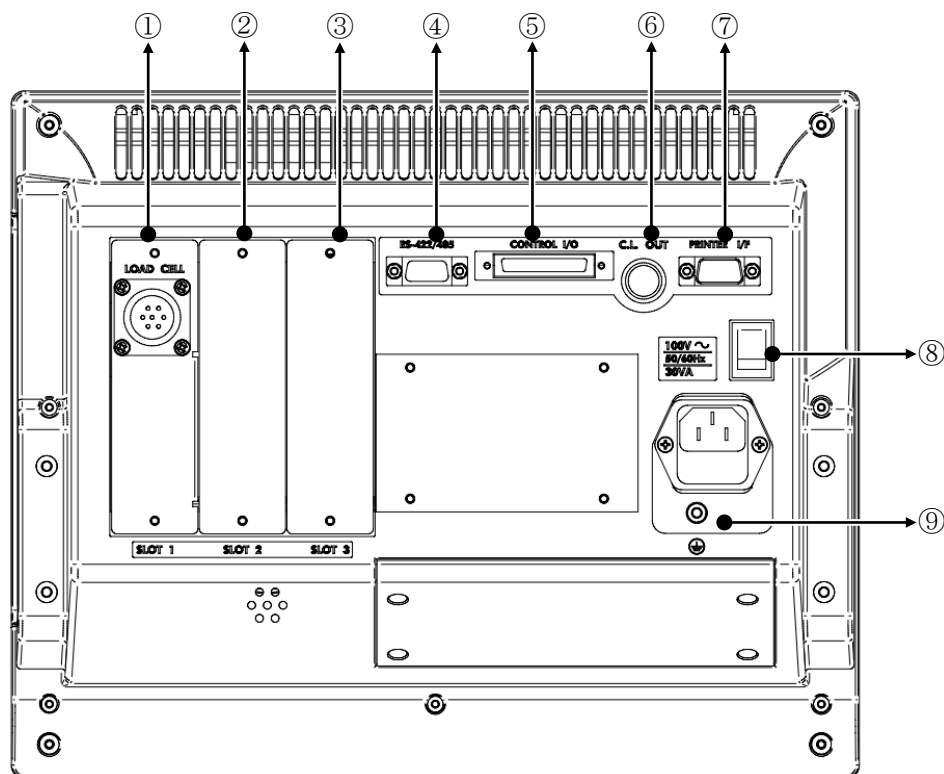
3-1 フロントパネル

本器フロントパネル



3-2 リアパネル

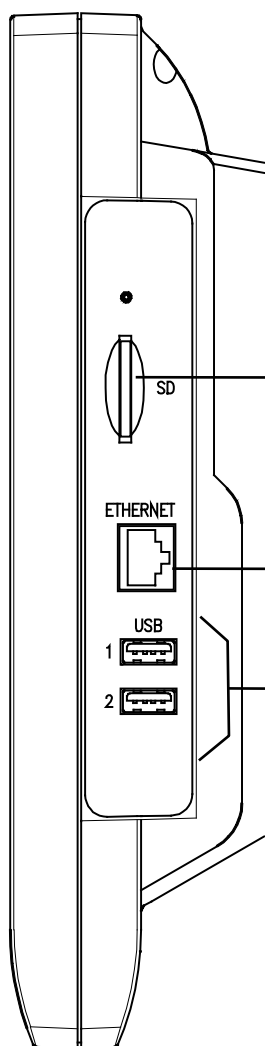
本器リアパネルとインタフェース



番号	機能
①	スロット1：スケール1用 標準ADボードもしくはOP-09（カレントループ入力）
②	スロット2：オプション用
③	スロット3：オプション用
④	RS-422/485 周辺機器用インタフェース
⑤	コントロール I/O 信号灯などのコントロール入出力用インタフェース
⑥	外部表示器用カレントループ・インタフェース
⑦	伝票プリンタ専用インタフェース
⑧	電源スイッチ
⑨	アース端子：誤動作を防ぐために大地アースをとってください。 AC電源ケーブルでアースが接続される場合には不要です。 接地はD種接地、単独アースに接続し、電力機器系のアースとは共有しないように注意してください。

3-3 サイドパネル

本器の向って右側側面のインタフェースです。



- SDメモ리카ード (出荷時に装着済み)
全計量・登録及び設定データの保存と復元、伝票発行時の計量履歴の保存に使用します。
定期的なバックアップを行うことにより、何らかのトラブルでデータが消失した際に、データの復元が可能になります。

- イーサネット (10BASE-T/100BASE-TX)
レーザープリンタの接続に使用します。

- USB2.0×2ch
テンキーボード (AD-4352-32)
USBメモリ (市販品を使用ください。
ファイルフォーマットはFAT32です)
レーザープリンタ (市販品：ポストスクリプト対応品
をご用意ください)
ICカードリーダー/ライター (AS-RC-S380S)

その他

音声ガイダンス機能を標準装備しています。

4 計量モード

4-1 スタート画面

本器電源を立ち上げると、プログラムバージョンと伝票プリンタのタイプとを表示します。

(伝票プリンタ：Aタイプ=カード式(単票)、Bタイプ=発行式(連続紙))

現在の伝票番号が表示された、伝票番号入力のダイアログが表示されます。

伝票番号を変更するときは、伝票番号を入力して **設定** ボタンを押します。

変更しないときは、そのまま **設定** ボタンを押します。

設定 ボタンを押すと、表示が計量画面に替わります。

計量機能設定で起動時の伝票番号を無しに設定すると、伝票番号入力ダイアログを表示しないで計量画面に替わります。

伝票番号は起動後に基本機能設定で変更できます。

入力した伝票番号がすでに存在する場合には現在の連番の伝票番号で立ち上がります。

伝票番号入力ダイアログ

トラックスケール Aタイプ

伝票番号			
			4
7	8	9	後退
4	5	6	消去
1	2	3	閉じる
0			設定

伝票番号を入力して下さい。

変更しない場合は設定ボタンを押して下さい。

計量（待機中）画面

消灯 平成26年 8月5日 火曜日 11:14 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

伝票番号	4	検査	滞留車一覧表示	3件	再発行
車番		時刻	車番	計量値 kg	状態
銘柄		08:44	4949	840	空車重量
業者		09:45	5656	990	初回重量
行先		17:53	4123	1700	初回重量
その他					
総重量	: kg				
空車重量	: kg				
正味重量	kg				

待機中です。

待機中の時には **再発行** ボタンを表示します。計量画面よりメニューの再発行モードに移行するボタンです。また滞留車一覧表示を行います。

4-2 計量画面

The screenshot shows a weighing scale interface with the following elements:

- 2: 共通表示部 (Common Display):** Top status bar showing date (平成26年 8月5日 火曜日) and time (13:10), along with buttons for '消灯' (Backlight Off), '計量' (Weighing), and 'メニュー' (Menu).
- 1: 重量表示部 (Weight Display):** Large digital display showing '3250 kg' with a '安定' (Stable) indicator and a 'スケール 1' (Scale 1) button.
- 3: 計量伝票表示部 (Weighing Ticket Display):** A table of weighing data including ticket number (2454), vehicle number (12345678), name (107 古タイヤ), operator (203 広域リサイクルセンターABC), location (12345 埼玉県北本市), and other notes (404 取扱い注意!). It also shows various weight and volume measurements like gross weight (13870 kg), tare weight (3250 kg), net weight (10620 kg), and volume (10 m³).
- 4: メッセージ表示部 (Message Display):** A blue banner at the bottom displaying the message '降車待ちです。' (Waiting for vehicle to get down).
- 5: 操作ボタン表示部 (Operation Button Display):** A 'ゼロ' (Zero) button located on the right side of the interface.

1 : 重量表示部	
スケール切替ボタン	現在のスケールを表示し、スケール1/2の切り替えを行います。
重量表示	現在の重量値をkgまたはtを付けて表示します。
状態表示	上から センターゼロ/安定/オーバーロードとそれぞれの条件を満たしたときに表示します。
センターゼロ	重量値が真のゼロのときに表示します。
安定	重量値が安定すると表示します。
オーバーロード	重量値がひょう量+9目以上で表示します。重量表示はブランクします。
マイナスオーバー	重量値が-20目以下では単位表示のみで重量表示も状態表示も行いません。単位以外は全てブランクとなります。
2 : 共通表示部	
消灯	バックライトOFFボタン 液晶画面のバックライトをOFFします。トラックの乗車または画面のどこかを押せば画面表示します。
ロック	キーロックボタン 計量画面でのタッチパネルの操作を禁止します。再度押すとロックが解除され、タッチパネルの操作が可能になります。ロック状態でも、バックライトOFFボタン、計量ボタン、ゼロボタンは有効です。
	日付・時刻表示 現在の日付・時刻を表示します。年の表示は和暦/西暦で切り替え可能です。
計量	計量ボタン トラック未乗車でも車番入力待ちにして計量可能にします。計量画面以外では操作中の動作を中断して計量画面を表示します。
メニュー	メニューボタン メニュー画面を表示します。キーロックされている場合には、キーロックを解除する必要があります。
ゼロ	ゼロボタン 設定された条件の範囲内で重量表示をゼロにします。
3 : 計量伝票表示部	計量伝票発行のためのデータを表示します。
4 : メッセージ表示部	本器を操作するためのメッセージを表示します。
5 : 操作ボタン表示部	本器を操作するためのボタンを表示します。ボタンは操作が有効なときのみ表示します。

この他、エラー発生時など画面中央にダイアログを表示します。

伝票データの最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲	オーバー時の処理
伝票番号	4 桁	1～9999 *	
車番	8 文字	0～9、A～Z	
項目コード	5 桁	0～99999	
名称	1 4 文字	表示のみ	
総重量	6 桁(小数点含)	0～99999 *	
空車重量	6 桁(小数点含)	0～99999	
正味重量	6 桁(小数点含)	表示のみ	
重量引重量	6 桁(小数点含)	0～99999	
重量引個数	2 桁	0～99	
水分引	4 桁	0～100	
補正後正味	6 桁(小数点含)	表示のみ	
比重	4 桁(小数点含)	0.01～9.99	
容積	6 桁(小数点含)	表示のみ	負の値または桁数オーバーは——表示
単価	6 桁(小数点含)	0～99999	
消費税	2 桁	表示のみ	
金額	1 0 桁(小数点含)	表示のみ	負の値または桁数オーバーは——表示
累計回数	5 桁		負の値または桁数オーバーは——表示
累計重量	1 0 桁(小数点含)		負の値または桁数オーバーは——表示
累計金額	1 3 桁(小数点含)		負の値または桁数オーバーは——表示

- ・ 伝票番号は伝票発行後に+1 されます。伝票番号が9999 の場合は1 になります。
- ・ 車番は0～9 までの数字とモードボタンを押すことにより、A～Z の入力が可能です。
- ・ 項目コードの0 入力は未入力となり、伝票発行時に印字しません。
- ・ 正味重量は、総重量、空車重量の大きい方から小さい方を引いた値なので、必ず正の値になります。
- ・ * 印は伝票追加発行でのみ入力可となり、通常の計量時は表示のみです。

4-3 計量の種類

以下の計量が可能です。

1回計量	車番登録で登録された空車重量を使用して計量します。
2回計量	総重量、空車重量をそれぞれ計量して、正味重量を算出します。
「空車」、「総重」ボタンのみでの印字	車番入力待ちでダイアログを閉じてから「空車」、「総重」ボタンを押すと、それぞれの重量値を印字します。



計量データの入力には以下の方法があります。

ダイアログから	ダイアログ内の数字または文字のボタンを押すことにより入力します。
USBテンキーから	USBテンキーの数字ボタンを押すことにより入力します。
パンチカードから	AD-4385接続時にパンチカード挿入により入力します。 ※パンチカード挿入時には「印字」ボタン、「設定完了」ボタン等の操作は不要となり、カード挿入のみで計量可能です。
ICカードから	AD-4385A/B及びUSB接続のICカードリーダーより入力します。 ※パンチカードと同様に、「印字」ボタン、「設定完了」ボタン等の操作は不要となります。

(USBテンキーのみでの伝票発行)

USBテンキーボードは以下のように対応するボタンが割り当てられています。

これらの「設定完了」、「印字」ボタンなどを押すことで、USBテンキーのみで伝票発行まで操作することができます。

ゼロ	計量	入戻	後退	Tab	→ ゼロ
7	8	9	空車		→ 計量
4	5	6	総重	*	→ 入力戻り
1	2	3	設定完了	BS	→ 後退
0		印字		-	→ 空車
				+	→ 総重
				del	→ 印字
				Enter	→ 設定完了

注意

USBテンキーのボタンを速く押すと、画面が追従せず、入力したデータは後から表示されます。テンキーダイアログを自動的に表示させている場合は、画面を確認しながら入力してください。計量画面での伝票発行以外は、タッチパネルの操作が必要になります。

(ICカードへの登録)

ICカードへの登録は、USBで接続されたICカードリーダー/ライターを使用して、AD-4352の新規車番登録及び車番登録変更にて行います。

カードに登録するデータは以下の通りです。

- ・車番 (8文字)
- ・項目1 (5桁)
- ・項目2 (5桁)
- ・項目3 (5桁)
- ・項目4 (5桁)

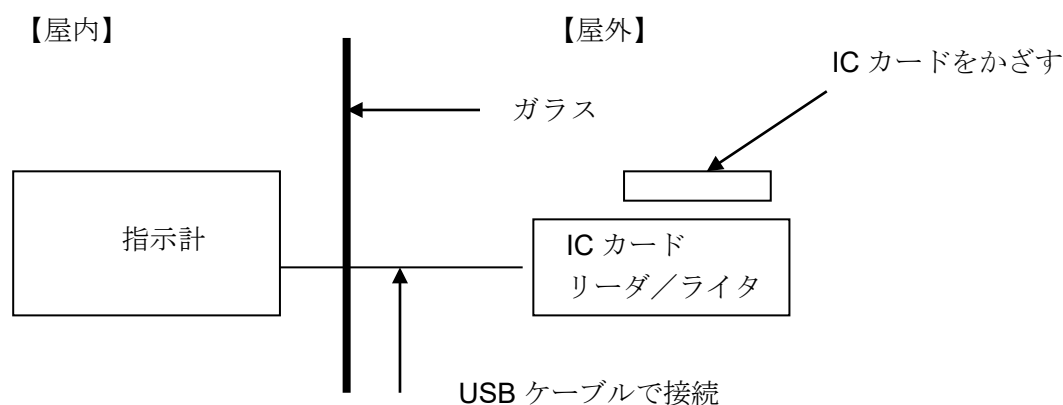
操作手順は、「[5-9 ICカードへの登録](#)」をご覧ください。

(項目コード読み出しの優先順位)

項目コードは以下の優先順位とし、0の場合は下位の優先順位のデータを読み出します。

1. 車番登録 /
2. カード /
3. 滞留車

(ICカードを使用した無人計量)



上図のように、夜間などでオペレータが不在で、トラックの運転手が指示計を直接操作できず、カードの操作のみで伝票を発行する状況を想定します。

自動計量が無しの設定において、車番入力待ちでコード番号0を含んだカードを読み込むと、1回計量または2回計量2回目にコード番号0の項目でダイアログを表示して入力待ちになります。この状態で、業者、銘柄などの項目別コード番号カードを読み込み、さらに印字ボタンの代わりに完了カードを使用して伝票発行を行うことが可能です。

項目別コード番号カードは、5桁のコード番号を新規名称登録及び名称登録変更にて行います。

完了カードは、完了を示す専用のカードを専用の画面で登録を行います。

これらの操作手順は、「[5-9 ICカードへの登録](#)」をご覧ください。

計量伝票には以下の種類があります。

標準書式	一般的な計量伝票向けの書式です。
作成書式	印字項目の位置を自由に設定できる書式です。 5種類の書式が登録可能で初期値として標準書式の値が入っています。

※Dタイプ（サーマル）プリンタにおいては、作成書式はありません。標準書式において、サーマルプリンタ専用の設定を変更することにより、書式の変更が一部可能になります。

重量値の取り込みには以下の種類があります。

ロードセル入力	標準A/Dボードからロードセルの出力をA/D変換して取り込みます。
カレントループ入力	カレントループ入力ボード（OP-09）から指示計のカレントループ出力を取り込みます。

4-4 1回計量

1回計量の計量手順は、空車重量を予め車番で登録しておく場合と計量画面より空車重量を入力する2種類になります。

1. 車番登録されている場合

トラックが乗車すると以下の画面となり、車番入力待ちになります。

The screenshot shows a scale interface. At the top, it displays the date and time: 平成27年 7月9日 木曜日 15:50. The scale is set to 'スケール 1' and shows a weight of 4230 kg, which is stable ('安定'). Below this, there is a table with columns for '伝票番号', '車番', '銘柄', '業者', '行先', 'その他', '総重量', '空車重量', and '正味重量'. The '車番' column is highlighted in blue, and a red arrow points to it with the number 1. To the right of the table is a numeric keypad with buttons for digits 0-9, a decimal point, and function buttons: 'モード', '<', '>', '後退', '消去', '閉じる', and '設定'. A red bar at the bottom of the keypad area contains the text '車番を入力して下さい。'

ここで、ダイアログ内の **数字** ボタンを押すことにより車番の文字列を左から入力します。

モード ボタンを押すと、英大文字のA～Zの入力が可能になります。

車番の入力が終了したら **設定** ボタンを押します。

車番を入力するとそのときの安定した重量値を読み込み画面表示します。

設定 ボタンを押す前に **閉じる** ボタンを押すとダイアログを閉じます。

再度入力する場合は車番の右側の濃い青色部分①を押してください。

(濃い青色は現在入力中を示します。)

消去 ボタンは入力中の文字を全て消去します。**後退** ボタンは入力中文字を1文字ずつ消去して左に後退します。

注意 □ 同じ車番の車番登録と滞留車登録がある場合は、車番登録が優先されます。

消灯	平成26年 8月5日 火曜日 11:25		計量	メニュー
スケール	4450 kg		安定	ゼロ
伝票番号	4			
車番	3104			
③ 銘柄	104	粗大ゴミ-A		
業者	204	100木工所		② 印字
行先	304	千葉県千葉市		
その他	404	取扱い注意!		
総重量	11:25	4450 kg		
空車重量	:	1000 kg		
正味重量		3450 kg		
印字ボタンを押して下さい。				

ここで、**印字** ボタン②を押すと安定した重量値を読み込み、伝票印字する計量データを日計元帳に登録し、伝票印字を行います。

印字 ボタン②を押す前に薄い青色部分③を押すと、伝票発行前に入力データを変更できます。上図では業者のコード番号もしくは銘柄のコード番号がこれに該当します。(薄い青色は変更可能を示します。)

2. 空車重量をキー入力する1回計量

車番と必要な項目を入力した後に空車重量表示部①を押し空車重量を入力すると1回計量として動作します。

消灯	平成26年 8月5日 火曜日 11:34		計量	メニュー
スケール	3190 kg		安定	ゼロ
伝票番号	4			
車番	7896			
銘柄	109	産業廃棄物		設定完了
業者	209	エクリプス運送		
行先	306	神奈川県川崎市		
その他	406	危険物注意!		空車
総重量	11:32	3190 kg		
空車重量	:	0 kg		
正味重量		kg		総重
① 設定完了又は空車、総重ボタンを押して下さい。 空車重量を入力して伝票発行することもできます。				

4-5 2回計量

2回計量の計量手順を以下に示します。

トラックが乗車後に車番を入力し重量値が安定すると、コード番号入力待ちになります。

伝票番号		コード番号			
車番	7896		0		
銘柄	0				
業者		7	8	9	後退
行先		4	5	6	消去
その他		1	2	3	閉じる
総重量	11:3	0			設定
空車重量	:				
正味重量					

銘柄を入力して下さい。
コード番号未入力設定ボタンを押してコード番号無しとすることもできます。

ここで、ダイアログ内の数字ボタンを押すことによりコード番号を入力し「設定」ボタンを押します。コード番号に対応する名称登録が存在すれば、コード番号の右側に表示します。

これでコード番号入力の操作は完了です。

コード番号を未入力としたい場合は、数字を入力しないで「設定」ボタンを押します。

コード番号を入力すると以下の画面になり、「設定完了」、「空車」、「総重」待ちになります。

以下の画面では計量機能設定での滞留車の扱いが“総重量”となっているため、1回目を総重量として表示しています。

伝票番号	4				
車番	7896				
銘柄	109	産業廃棄物			
業者	209	エクリプス運送			
行先	306	神奈川県川崎市			
その他	406	危険物注意!			
総重量	11:32	3190 kg			
空車重量	:	0 kg			
正味重量		kg			

設定完了又は空車、総重ボタンを押して下さい。
空車重量を入力して伝票発行することもできます。

① 設定完了
② 空車
③ 総重
④ 業者
⑤ 設定完了又は空車、総重ボタンを押して下さい。

ここで、**設定完了** ボタン①を押して重量値が安定すると、計量データを滞留車として登録します。

空車 ボタン②を押して重量値が安定すると、計量データを滞留車として登録し、計量値を空車重量として印字します。**総重** ボタン③を押して重量値が安定すると、計量データを滞留車として登録し、計量値を総重量として印字します。

計量伝票表示部の薄い青色部分④を押すと、滞留車登録前に入力データを変更できます。また空車重量表示部⑤を押し空車重量を入力することで1回計量となり、伝票発行をすることができます。

1回目に **空車** ボタンを押した場合の2回目は総重量、1回目に **総重** ボタン押した場合の2回目は空車重量となります。

1回目に **設定完了** ボタンを押した場合は、1回目と2回目の計量値の大きい方が総重量、小さい方が空車重量になります。

いずれの場合も重量値の大きい方から小さい方を引いた値が正味重量となり、正味重量が負の値となることはありません。

また、空車を滞留車として計量した際に計量したデータを車番登録することが可能です。メニュー/保守の3：計量機能設定で「滞留車からの車番登録」の設定を“有り”にすると有効となります。

この場合には、計量の際に **設定完了** を押してください。入力した車番で空車登録を行い降車待ちとなります。**総重** **空車** ボタンを押した場合には滞留車として計量します。

消灯		平成26年 8月5日 火曜日 11:37		計量	メニュー
スケール	1	0.350 kg		安定	ゼロ
伝票番号		手順確認			
車番	852	滞留車を作成せずに車番登録しますか？			設定完了
銘柄	10	はい			空車
業者	20	いいえ			
行先	30				
その他	40				
総重量	11				
空車重量	:	0 kg			
正味重量		kg			総重
設定完了又は空車、総重ボタンを押して下さい。 空車重量を入力して伝票発行することもできます。					

はい で車番登録し滞留車は作成しません。

ここで車番登録すると次回から1回計量となります。

いいえ では車番登録せず滞留車の作成となります。

4-6 計量伝票印字

1 回計量、2 回計量 2 回目の計量伝票を発行する際に、下記操作を行うことが可能です。

The screenshot shows a scale interface with the following elements:

- Top status bar: 消灯 (Off), 平成24年 7月13日 金曜日 14:30 (Date/Time), 計量 (Weighing), メニュー (Menu).
- Scale display: スケール 1 (Scale 1), 3840 kg (Weight), 安定 (Stable).
- Table of data:

伝票番号	1007			
車番	1213	水分引	3 %	設定完了
業者	10000 あいうえ商店	補正正味	2270 kg	
銘柄	0			印字
総重量	14 : 25	3840 kg		
空車重量	:	1500 kg		
正味重量		2340 kg		
- Bottom message bar: 印字ボタンを押して下さい。 (Please press the print button). 設定完了ボタンを押すと印字せずに日計元帳に保存します。 (Pressing the setting complete button saves to the daily ledger without printing).
- Annotations: ① points to the '銘柄' (Brand) field; ② points to the '設定完了' (Setting Complete) button.

- ① 項目コード番号を未入力もしくは0で入力された箇所の名称入力
項目名称の表示部（薄い青色部分）を押すことで文字入力が可能となり名称のみ入力することができます。計量伝票に印字されるだけで日計元帳にメモリされるわけではありません。
- ② 印字しないで計量を完了する
計量伝票を発行する際には **印字** ボタンを押しますが、伝票発行が不要なときには **設定完了** ボタンを押すことで日計元帳にメモリするだけで降車待ちとなります。

注意

出荷時設定では、**設定完了** ボタンは表示しません。

設定完了 ボタンを表示させるには、内部設定モードの計量機能設定で「印字待ちでの設定完了ボタン」を「表示する」にします。

4-7 空車、総重ボタンのみでの印字

車番を入力せずに現在の計量値を空車重量もしくは総重量として、正味重量を計量伝票に印字する機能を説明します。

まずトラックが乗車し、車番入力待ちで表示されたテンキーダイアログを「閉じる」ボタンで閉じると、以下の画面になり「空車」ボタン、「総重」ボタンを表示します。車番入力を“車番一覧”もしくは“滞留車一覧”から選択する設定では、画面右側が一覧表示となり、「空車」ボタン、「総重」ボタンは車両乗車後すぐに有効になります。

The screenshot shows a weighing scale interface. At the top, it displays '消灯' (Light Off), the date '平成24年 5月18日 金曜日 19:35', '計量' (Weighing), and 'メニュー' (Menu). Below this, a scale indicator shows 'スケール 1' and a large digital display shows '5090 kg' with '安定' (Stable) next to it. A 'ゼロ' (Zero) button is on the right. Below the display is a table for data entry:

伝票番号	3			
車番				
業者				
銘柄				
総重量	:	kg		
空車重量	:	kg		
正味重量		kg		

At the bottom of the table, there are two buttons: a pink '空車' (Empty Vehicle) button labeled ① and a green '総重' (Total Weight) button labeled ②. Below the table, a red banner says '車番を入力して下さい。' (Please enter the vehicle number.)

ここで、「空車」ボタン①を押すと現在の安定した計量値を空車重量として、計量時分と共に印字し降車待ちとなります。

「総重」ボタン②を押すと、現在の安定した計量値を総重量として、計量時分と共に印字し降車待ちとなります。

ここで、保守/メニューの「3:計量機能設定」で“空車/総重での正味印字”が有りの設定では、印字した計量値を総重または空車として一時記憶します。1回目の一時記憶が“空車”のときには、次回に総重量の車両が乗車し「総重」ボタンを押すと総重量と正味重量を印字します。ただし、この計量データは車番を入力していないので、日計元帳へは保存しません。また、この一時記憶は電源を切るとクリアされます。

※単純計量について

“空車/総重での正味印字”が“単純計量”の場合は、AD-4350互換の単純計量になります。この場合、計量データの一時記憶はせず、2回目の計量時に印字済み計量伝票の1回目の計量値を見ながら入力することにより正味重量を算出して印字します。日計元帳へは保存しません。

4-8 コントロール I / O

本器が持っているコントロール入出力の仕様内容を説明します。

4-8-1 コントロール入力

ゼロ	計量画面上の ゼロ ボタンと同様の機能です。
位置検出	トラック乗車の条件に追加します。位置検出を2つ使用する場合は2つがONで有効になります。
計量	計量画面上の計量ボタンと同様の機能です。

4-8-2 コントロール出力

前信号 (乗降車信号)	トラック未乗車でON、乗車でOFFになります。内部設定モードにおけるコントロール I / O の出力選択が、乗降車信号になっている場合は逆になります。
後信号	計量が完了してトラックが降車待ちになるとONになります。他の状態ではOFFになります。
過積載	過積載エラーが発生するとONになります。 確認 ボタンでOFFになります。
行先出力	計量完了から次のトラックが乗車するまでの間、内部設定モードにおけるコントロール I / O の行先出力で設定された、コード番号の下2桁を出力します。

4-9 補正の入力及び読出し

4-9-1 補正入力

正味重量算出後、重量引 → 水分引 → 比重 → 単価の順に、内部設定で使用となっている補正を入力します。項目コード同様に 印字 ボタンを押す前に値を変更することも可能です。

重量引

重量引で入力した重量値を、正味重量から引いて補正後正味とします。

以下の式で定義されます。

(個数未使用の場合)

$$\text{補正後正味[k g]} = \text{正味重量[k g]} - \text{重量引[k g]}$$

(個数使用の場合)

$$\text{補正後正味[k g]} = \text{正味重量[k g]} - \text{重量引[k g]} \times \text{個数}$$

注意 □ 設定により、重量引×個数及び補正後正味を目量で丸めます。

水分引

水分引で入力した値または水分登録の値から水分量を算出し、正味重量から引いて補正後正味とします。

以下の式で定義されます。

$$\text{水分量[k g]} = (\text{正味重量[k g]} \times \text{水分率[\%]}) / 100$$

$$\text{補正正味[k g]} = \text{正味重量[k g]} - \text{目量で丸めた水分量[k g]}$$

比重

比重で入力した値または比重登録の値から容積を算出します。

以下の式で定義されます。

$$\text{容積[m}^3\text{]} = \text{正味重量[k g]} / (\text{比重} \times 1000)$$

単価

単価で入力した値または単価登録の値から金額を算出します。

さらに、消費税率から税額を算出し、これを金額に加算して税込み金額とします。

以下の式で定義されます。

(標準単価の場合)

※外税方式

$$\text{金額[円]} = \text{正味重量[k g]} \times \text{単価[円/k g]}$$

$$\text{税額[円]} = (\text{金額[円]} \times \text{消費税率[\%]}) / 100$$

$$\text{税込み金額[円]} = \text{金額[円]} + \text{税額[円]}$$

※内税方式

$$\text{税込み金額[円]} = \text{正味重量[k g]} \times \text{単価[円/k g]}$$

$$\text{税額[円]} = (\text{税込み金額[円]} \times \text{消費税率[\%]}) / (100 + \text{消費税率[\%]})$$

(重量範囲単価の場合)

超過重量[k g] = 正味重量[k g] - 基本重量[k g] (結果が負の場合は0) とすると、

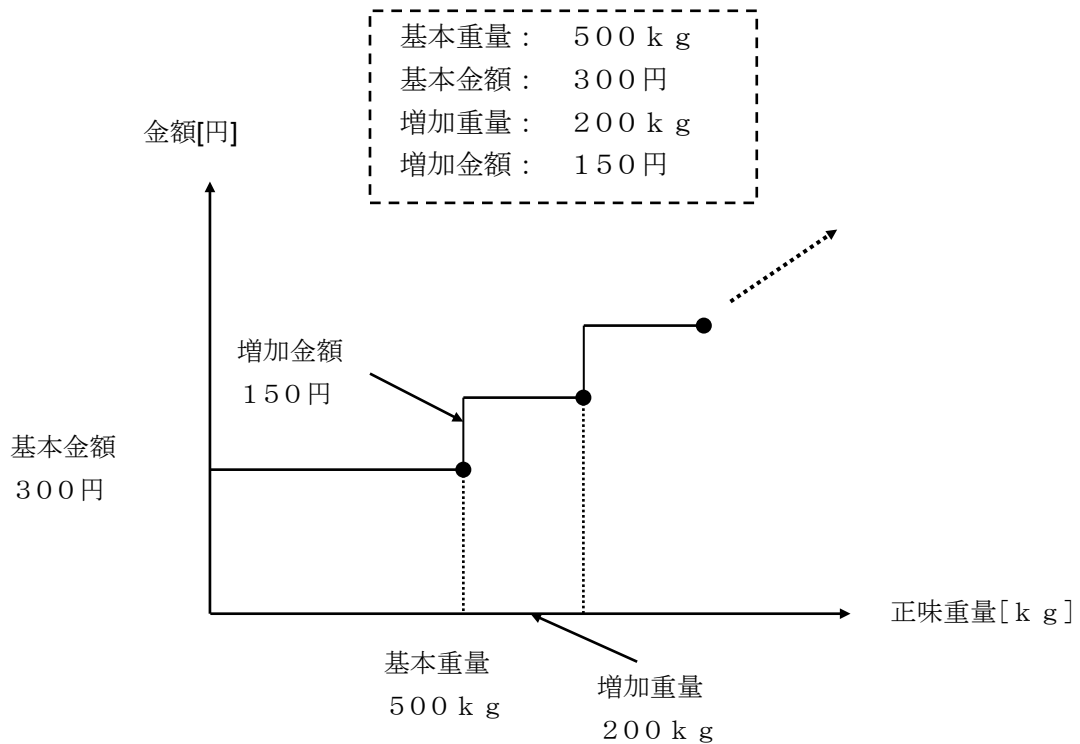
金額[円] = 基本金額[円] + (超過重量[k g] / 増加重量[k g]) × 増加金額[円]

ただし、超過重量[k g] / 増加重量[k g]は小数点以下切捨てになります。

税額、税込み金額は標準単価と同じです。

※内税方式の場合は、上記式の金額[円]が税込み金額[円]になります。

正味重量と金額の関係は以下のようにになります。



正味重量[k g]	金額[円]
正味重量 ≤ 500 k g	300 円
500 k g < 正味重量 ≤ 700 k g	450 円
700 k g < 正味重量 ≤ 900 k g	600 円
⋮	⋮

※計量画面での金額表示は、消費税の使用が「外税」でも「内税」でも税込み金額になります。

4-9-2 補正登録の読出し

正味重量算出時（重量引使用の場合は重量引入力後）車番、項目コードの組み合わせで補正（水分、比重、単価）の登録があれば読み出して表示し、補正後正味、容積、金額を算出して表示します。

水分引登録を読み出すと以下の画面になります。

消灯		平成26年 8月5日 火曜日 11:50		計量	メニュー
スケール	1	1660 kg		安定	ゼロ
伝票番号	4				
車番	7532				
銘柄	108	古新聞	水分引	7 %	
業者	208	北本トマト運輸	補正正味	3280 kg	
行先	308	新潟県新潟市			印字
その他	0				
総重量	11:48	5190 kg			
空車重量	11:49	1660 kg			
正味重量		3530 kg			
印字ボタンを押して下さい。					

水分引の値を表示して、次の未入力項目の入力になります。

読み出した補正值は 印字 ボタンを押す前に、薄い水色部分を押しと変更可能です。

比重登録、単価登録の読出しも同様の操作となります。

ただし、単価が重量範囲単価の場合は、計量画面上には金額のみで単価データの表示はしません。さらに読み出した単価データの変更もできません。

4-10 計量伝票発行時の集計機能

メニュー/保守の計量機能設定の“計量画面の集計項目”が、車番別または項目1～4別のいずれかに設定されていると累計回数、累計重量を、さらに内部設定で単価使用であれば累計金額を、

印字 ボタンを押してからトラック降車までの間表示します。

さらに、内部設定において作成書式の印字項目として設定されていると、計量伝票に印字することも可能です。

計量画面で累計表示を行う設定では待機中に **集計クリア** ボタンを表示します。

この **集計クリア** ボタンを押すと、その時点から集計を開始して、集計開始年月日、時分を設定し直します。

集計開始の年月日、時分は、基本機能設定の集計開始年、月、日、時、分で閲覧可能です。

この機能による集計の掛け合わせは車番別、各項目別の“1つのみ”となっています。

伝票再発行では、集計開始の年月日、時分から選択した伝票の年月日、時分までの集計結果を表示します。伝票削除等で途中のデータが変わった場合は、それに応じて集計結果も変わります。

選択した伝票の年月日、時分が集計開始の年月日、時分より古くなった場合は、集計結果の表示、印字は行いません。

印字 ボタンを押すと設定された集計表示を行い、以下の画面になります。

消灯		平成26年 8月5日 火曜日 11:58		計量	メニュー
スケール	1	2130 kg		安定	ゼロ
伝票番号	32				
車番	0718				
銘柄	111	無筋がれき			
業者	211	中村興業			
行先	312	京都府京都市			
その他	406	危険物注意!		単価	3円
総重量	11:56	6980 kg		金額	14550円
空車重量	11:57	2130 kg		累計回数	2回
正味重量		4850 kg		累計重量	7670 kg
				累計金額	23010円
降車待ちです。					

4-11 車番の入力方法

車番の入力についてはテンキーからの入力以外に、計量機能設定での車番入力の方法により、車番登録一覧や滞留車一覧から選択して入力することもできます。

計量機能設定での車番入力の方法が車番一覧からになっているときは、トラックが乗車すると以下の画面のように車番登録の一覧を表示します。

伝票番号 3500

検索 車番 登録一覧表示 15件

車番	空車重量 kg	最大積載量 kg
1028	800	20000
1413	950	30000
2983	750	15000
3104	1000	40000
32843	500	0
3745	1200	25000
4126	600	12000
4649	1000	22000

車番登録一覧から車番を選択して下さい。
車番のカーソルを押して車番を入力することもできます。

ここで車番登録一覧から、入力したい車番のデータ①を押すと車番入力ができます。

検索 ボタン②を押すと検索用のダイアログを表示し、入力した文字で車番を検索して一覧表示中に反転表示します。

車番入力の濃い青色部分③を押すと、車番入力のダイアログを表示して、そこから車番入力することも可能です。

滞留車一覧からの入力については、車番登録一覧からの入力と同様の操作になります。

ダイアログを表示していなくても、USBテンキーから車番入力が可能です。

USBテンキーのボタンを速く押すと、画面が追従せず、入力したデータは後から表示されます。

4-12 コード番号の入力方法

コード番号の入力についてはテンキーからの入力以外に、計量機能設定で項目コードの入力方法を選択して名称登録一覧から入力することもできます。

メニュー/保守の計量機能設定で項目コードの入力方法が一覧からの選択になっていると、車番入力後以下のように名称登録の一覧①を表示します。

The screenshot shows a scale interface with the following elements:

- Top status bar: 消灯 (Off), 平成25年 10月18日 金曜日 18:39, 計量 (Weighing), メニュー (Menu)
- Scale display: スケール (Scale) 1, 2700 kg, 安定 (Stable), ゼロ (Zero)
- Data entry table:

伝票番号	4
車番	5218
銘柄	300 資源-A
業者	0
行先	
その他	
総重量	18:37 2700 kg
空車重量	: kg
正味重量	kg
- Code list table:

コード番号	名称
0	
1	1234567890ABCD
10	広域リサイクルセンター
100	ABC産業株式会社
111	中央清掃センター
200	南区清掃センター
222	100木工所
300	200工務店
- Callouts:
 - ①: Points to the code list table.
 - ②: Points to the 検索 (Search) button.
 - ③: Points to the 業者 (Operator) field in the data entry table.
 - ④: Points to the blank code '0' in the code list table.
- Bottom message: 業者一覧からコード番号及び名称を選択して下さい。業者のカーソルを押してコード番号を入力することもできます。 (Please select the code number and name from the operator list. You can also enter the code number by pressing the cursor of the operator.)
- Bottom right button: 入力戻り (Return)

ここで、名称登録一覧①から入力したいコード番号 (名称) のデータを押すと、コード番号の入力ができます。

検索 ボタン②を押すと検索用のダイアログを表示し、入力した数値でコード番号を検索して、一覧表示中に反転表示します。

コード番号入力の濃い青色部分③を押すと、車番入力のダイアログを表示して、そこから車番入力することも可能です。

ダイアログを表示していなくても、USBテンキーからコード番号入力が可能です。

USBテンキーのボタンを速く押すと、画面が追従せず、入力したデータは後から表示されます。

また、コード番号を未入力としたい場合、項目名称に0で空白④を登録しておき、これを選択することで、項目の未入力 (印字は空白) となります。

4-13 過積載

計量値が車番登録された最大積載量を超えると過積載エラーとなり、ダイアログを表示してコントロール出力をONにします。

過積載を判定する条件や過積載後の動作は、計量機能設定で以下のように設定できます。

最大積載量の設定（0は設定無し）	
車番登録	最大積載量が車番登録されているときは、この設定値で過積載を判定します。
共通設定	最大積載量が車番登録されていないときは、計量機能設定の最大積載量で過積載を判定します。
過積載時の処理	
計量続行	<input type="button" value="確認"/> ボタンで計量続行します。
計量禁止	<input type="button" value="確認"/> ボタンで車番入力待ちに戻ります。
過積載の判定重量	
正味重量	正味重量 > 最大積載量で過積載エラーとします。
総重量	総重量 > 最大積載量で過積載エラーとします。

※過積載の判定重量が総重量の場合は、最大積載量の表記は車両総重量になります。

4-14 2スケール仕様

スロット2に増設ADボード（OP-01）またはカレントループ入力ボード（OP-09）を実装することで、2スケール仕様として動作します。

スケール2を使用した場合も、スケール1と同様な手順で計量伝票の発行が可能です。

また、どちらで計量しても滞留車データは共通なので、スケール1で総重量（空車重量）を、スケール2で空車重量（総重量）を計量して伝票発行することも可能です。

カレントループ出力による外部表示器（AD-8921）は、選択中のスケールの重量値を出力します。

本器電源を立ち上げたときにスケール2が乗車中でなければ、スケール1が選択された状態になります。

スケールの切り替えは、スケール切替ボタンによる手動切替と、計量動作の変化による自動切替があります。

手動切替は待機中、車番入力待ち、降車待ちで可能であり、計量中のスケール切替は禁止です。車番入力待ちの場合は、ダイアログを閉じてからスケール切替が有効になります。

自動切替は以下の場合に行われます。

- 1) 待機中で選択されていないスケール（スケール1が選択されているならスケール2）のトラックが乗車した場合。
- 2) 車番入力待ちまたは降車待ちで、選択されていないスケール（スケール1が選択されているならスケール2）のトラックが乗車した状態で、選択されている（スケール1が選択されているならスケール1）トラックが降車した場合。

スケール1と2の計量値は、単位、小数点、目量が共通となります。

5 メニューモード

計量モードで **メニュー** ボタンを押すと、計量モードからメニューモードに切り替わりメインメニューを表示します。



1. 伝票
伝票再発行、追加発行、一覧印字、削除を行います。
2. 滞留車
滞留車の変更、滞留車を選択しての伝票発行、一覧印字、削除を行います。
3. 集計
計量伝票の集計を行います。
4. 車番登録
車番に対する項目コード、空車重量、最大積載量の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
5. 名称登録
項目名称の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
6. 水分登録
水分引の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
内部設定で水分登録を使用する設定のときに表示します。
7. 比重登録
比重の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
内部設定で比重登録を使用する設定のときに表示します。
8. 単価登録
単価の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
内部設定で単価登録を使用する設定のときに表示します。
9. 保守
時間の設定、機能の設定、外部メモリへデータの保存・読み込みを行います。

最上表示部の日付右側に位置する **計量** ボタンで、計量モードに切り替わります。

5-1 伝票

メインメニューで **1. 伝票** を選択すると、伝票操作選択画面が表示され操作を選択できます。

4. 伝票追加発行 は、内部設定で伝票追加発行が“使用”のときのみ表示します。

戻る ボタンを押すと、前画面に戻ります。(以下共通)



5-1-1 伝票再発行

1. 伝票再発行 を選択すると伝票一覧を表示して、その日の伝票の先頭①を反転表示にします。



ここで **再発行** ボタン②を押すと伝票データが表示されます。

伝票一覧から他の伝票の行を押すとその行が反転表示され、**再発行** ボタン②を押すと選択した伝票データが表示されます。

検索の年月日③を変更すると、変更した年月日の伝票の先頭が反転表示します。

選択した伝票の年月日（黄色で表示）

伝票再発行 平成24年 5月22日 火曜日 計量 メニュー

スケール 1 kg センターゼロ 安定 ゼロ

伝票番号	5								戻る
車番	7253								
業者	111	古川土建							印字
銘柄	211	アスファルト							
総重量	10:22	4230 kg							
空車重量	:	500 kg							
正味重量		3730 kg							

印字ボタンを押すと伝票発行します。
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

ここで **印字** ボタン④を押すと伝票を再発行します。

印字 ボタンを押す前に薄い青色部分⑤を押すと、伝票データを変更することができます。

印字 ボタンを押した後、登録確認のダイアログ（変更があった場合のみ）、印字確認のダイアログを順に表示します。それぞれ必要ならば **はい** のボタンを押してください。

5-1-2 伝票一覧印字

2. 伝票一覧印字 を選択すると伝票一覧を表示して、その日の伝票の先頭を反転表示にします。

ここで、一覧印字する伝票の行の終わりを押すと、選択した範囲①が反転表示します。

印字伝票一覧 平成24年 5月22日 火曜日 17:15 計量 メニュー

スケール 1 kg センターゼロ 安定 ゼロ

年月日	No.	車番	業者	名称	銘柄	名称	時刻	総重量 kg	
H24/05/21	1	4649	108	中村興業	208	無筋がれき	16:45	9710	戻る
H24/05/21	2	5963	109	島田組	209	有筋がれき	16:46	12160	
H24/05/21	3	0718	23	南区清掃センター	101	処理灰-1	17:15	6580	
H24/05/22	4	6741	111	古川土建	210	コンクリート	08:47	6860	一覧印字
H24/05/22	5	7253	111	古川土建	211	アスファルト	10:22	4230	日付範囲
H24/05/22	6	8783	150	ABC産業株式会社	103	一般廃棄	14:56	2880	
H24/05/22	7	4649	108	中村興業	208	無筋がれき	16:54	5170	
H24/05/24	8	8931	113	夕日エンジニアリン...	213	堆肥	20:02	6940	

検索 H 24年 5月 22日 登録件数 29/ 10000

印字範囲のデータを選び、一覧印字ボタンを押して下さい。
選択解除ボタンを押すとデータの選択を解除します。

一覧印字 ボタン②を押すと確認のダイアログを表示した後、選択した伝票の一覧印字をします。
選択解除 ボタン③を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン④を押すと全ての伝票データを選択します。
 さらに **日付範囲** ボタン⑤を押すと日付範囲を入力するダイアログを表示し、指定した日付範囲で一覧印字します。日付範囲は現在の年月日から表示します。範囲を変更する場合は変更する項目を押して、変更してから **確定** ボタンを押します。

5-1-3 伝票削除

3. 伝票削除 を選択すると伝票の一覧表示をします。
 伝票削除には、**日付範囲** ボタンによる削除、**全選択** ボタンによる全ての伝票データの削除、画面選択による1件削除と範囲指定削除の方法があります。



日付範囲 ボタンによる削除

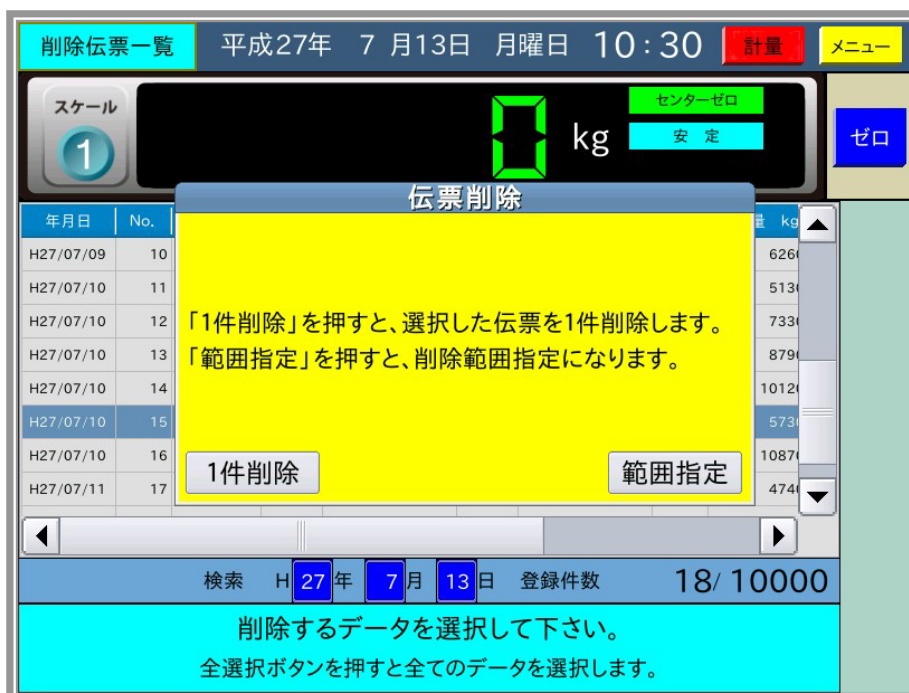
削除する日付を入力するダイアログが表示しますので、削除する日付範囲を入力し **確定** ボタンを押すと削除範囲確認のダイアログを表示します。確認後、**はい** ボタンを押すと、その日付範囲を削除します。削除した後に伝票番号を設定します。

全選択 ボタン

全ての伝票データが選択されます。(ここでは選択するだけです)

削除 ボタンを押すことで全ての伝票データを削除し、削除した後に伝票番号を設定します。

メニュー画面の伝票操作選択より **3：伝票削除** に入り、伝票一覧表示をしたところで削除する伝票を選択すると **1件削除** と **範囲指定** のダイアログを表示します。



1件削除 ボタンを押すと、選択した1件を削除し伝票一覧画面に戻ります。

1件削除では、伝票番号の設定画面は表示されません。現在の伝票番号の続きによる連番となります。

範囲指定 ボタンを押すと、範囲指定となり最初に選択した伝票の一覧画面に戻ります。



次に削除する最後の伝票を選択し、削除する範囲を指定します。

削除伝票一覧 平成27年 7月13日 月曜日 10:31 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

年月日	No.	車番	銘柄	名称	業者	名称	時刻	総重量 kg
H27/07/09	10	3284	103	一般廃棄	203	広域リサイクルセン...	11:56	6260
H27/07/10	11	8739	112	有筋がれき	210	野呂商事	09:10	5130
H27/07/10	12	3104	107	古タイヤ	216	ABC産業株式会社	09:59	7330
H27/07/10	13	6580	108	古新聞	203	広域リサイクルセン...	10:12	8790
H27/07/10	14	7490	104	粗大ゴミ-A	213	石川建設	10:29	10120
H27/07/10	15	4126	102	普通灰-2	201	中央清掃センター	12:52	5730
H27/07/10	16	5656	109	産業廃棄物	212	島田組	13:38	10870
H27/07/11	17	3776	110	空缶	206	小林リサイクル	09:56	4740

検索 H 27年 7月 13日 登録件数 18/10000

削除範囲のデータを選び、削除ボタンを押して下さい。
 選択解除ボタンを押すとデータの選択を解除します。

戻る 削除 選択解除 全選択

画面右端の **削除** ボタンで選択した範囲の伝票を削除します。

削除した後に、伝票番号の設定を促すダイアログが表示されますので、伝票番号の変更が必要な場合には入力してください。

5-1-4 伝票追加発行

計量せずに計量データを入力して伝票発行をします。

4. 伝票追加発行 を選択すると、その日の年月日を表示したダイアログを表示します。

ここで日付の変更をしないで **確定** ボタンを押すと、その日を日付とした 伝票追加発行画面 を表示します。

日付を変更して **確定** ボタンを押すと、変更した日を日付とした 伝票追加発行画面 を表示します。

伝票番号から順に入力していき、入力が全て終了したら **印字** ボタンを押します。

入力した伝票番号が重複した場合には、連番の次の伝票番号が自動的に入力されます。

総重量、空車重量の“時”を入力しないで **設定** ボタンを押すと、時刻無しになります。

印字 ボタンを押した後、登録確認のダイアログ、印字確認のダイアログを順に表示します。

それぞれ必要ならば **はい** のボタンを押してください。

入力を間違えたときはダイアログを閉じてから、**入力戻り** ボタンを押します。

1つ前の項目を入力するためのダイアログを表示します。

印字 ボタンを押す前に薄い青色の部分を押すと、伝票データを変更できます。

総重量、空車重量の“時”を“24”に変更すると時刻無しとなります。

ここで伝票発行すると最下行に“法定計量外”を印字します。

5-1-5 伝票データのUSBメモリへの出力

計量した伝票データをUSBメモリに書き込みます。

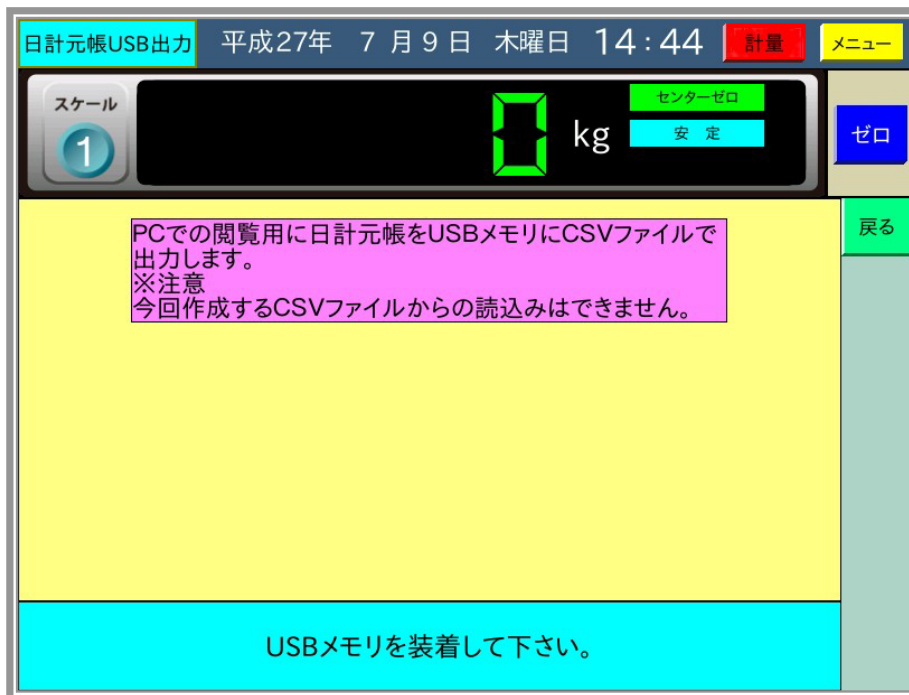
本機能はPCでの閲覧用です。銘柄、業者などのコード番号と共に、名称も追加しています。さらに、日計元帳一覧としてわかり易いように、不要なデータは出力せず、必要なデータを左から順に並べています。

出力するファイル名は“Motocho_Ichiran.csv”です。

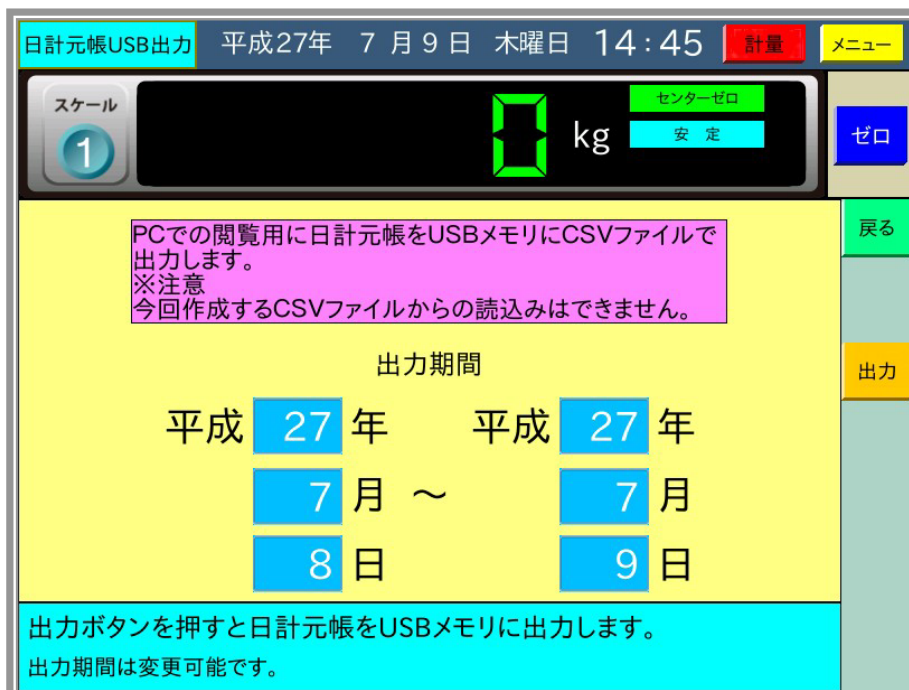
(注意)

本機能は書き込みのみで、本機能により書込んだデータの読み込みはできません。

5. USBメモリへの出力 を選択すると、以下の画面になりますので、USBメモリを装着してください。(USBメモリ装着済みの場合は、以下の画面は表示しません。)

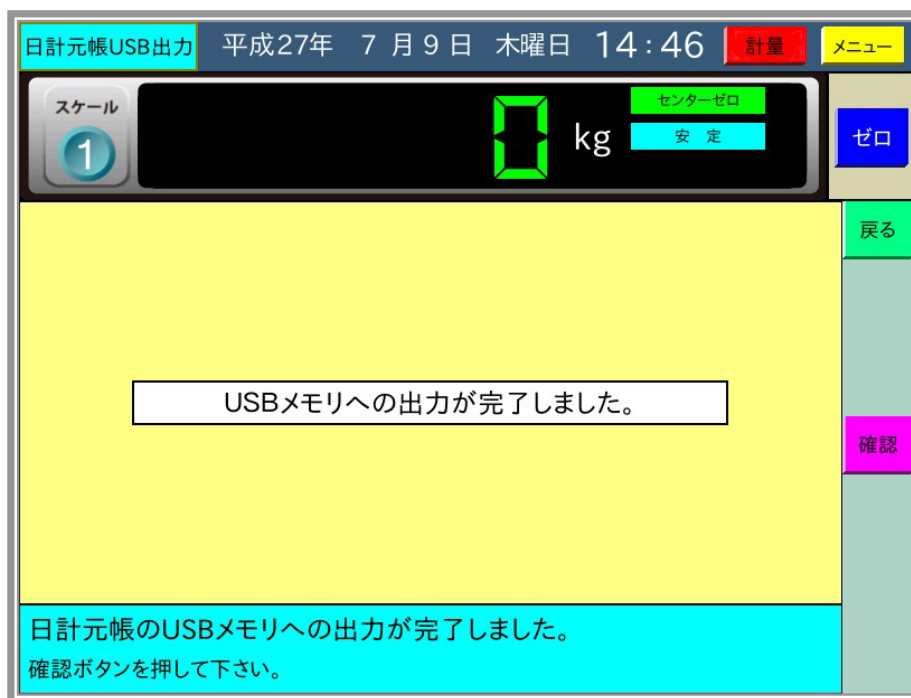


USBメモリを装着すると、USBメモリ上の全データを出力期間として表示します。



ここで、必要に応じて出力期間を変更して「出力」ボタンを押すと、指定した期間の日計元帳データをUSBメモリにCSVファイルで書き込みます。

正常に終了すると、以下の画面になります。



PC上での日計元帳のファイル例です。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled 'Motocho_Ichiran.csv'. The spreadsheet has columns for date, invoice number, vehicle number, license plate, name, operator, name, total time, total weight, empty time, empty weight, net weight, and loading/unloading status. The data is as follows:

1	年月日	伝票番号	車番	銘柄	名称	業者	名称	総重時分	総重量	空車時分	空車重量	正味重量	入出荷
2	H27.7.8	1	4649	103	一般廃棄	203	広域リサイ	9:11	6830	9:14	2090	4740	0
3	H27.7.8	2	5963	107	古タイヤ	206	小林リサイ	10:03	6550	9:58	1560	4990	1
4	H27.7.8	3	3104	108	古新聞	216	ABC産業材	10:35	5110		1350	3760	2
5	H27.7.8	4	8931	104	粗大ゴミー	207	鴻業廃品店	11:23	4430	11:31	1460	2970	0
6	H27.7.8	5	2983	109	産業廃棄物	211	中村興業	13:05	8240	13:24	2290	5950	0
7	H27.7.9	6	725	110	空缶	201	中央清掃セ	8:46	5400	8:48	1890	3510	1
8	H27.7.9	7	4527	111	無筋がれき	212	島田組	10:15	10090	10:00	2800	7290	0
9	H27.7.9	8	9696	105	粗大ゴミー	206	小林リサイ	10:43	4610	10:45	1670	2940	0
10	H27.7.9	9	1028	115	残土	214	古川土建	10:47	7890	10:50	4350	3540	0
11	H27.7.9	10	3284	103	一般廃棄	203	広域リサイ	11:56	6260	12:02	2060	4200	0
12													

入出荷の条件は以下の通りです。

総重時刻 ≤ 空車時刻の場合は入荷（入出荷の値 0）

総重時刻 > 空車時刻の場合は出荷（入出荷の値 1）

1 回計量（空車時刻無し）の場合は入出荷不明（入出荷の値 2）

5-2 滞留車

メインメニューで **2. 滞留車** を選択すると、滞留車操作選択画面が表示され操作を選択できます。



5-2-1 滞留車変更

1. 滞留車変更 を選択すると、以下の画面のように滞留車の一覧が表示されます。



ここで、変更する滞留車の行を押すと反転表示になり、**変更** ボタン①を押すと滞留車変更画面で選択した滞留車データが表示されます。

検索の車番②を入力すると、入力した車番の滞留車が反転表示します。

一覧表中の“状態”③では、滞留車作成時に空車重量を印字していれば“空車重量”、総重量を印字していれば“総重量”、印字をしていなければ“初回重量”を表示します。

滞留車変更 平成24年 5月23日 水曜日 9:06 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

⑤ 車番 4521
 業者 100 広域リサイクルセンター
 銘柄 103 一般廃棄

④ 総重量 14:40 1570 kg
 空車重量 : kg

戻る
 ⑥ 設定完了
 ⑦ 空車
 ⑧ 総重

設定完了ボタンを押すと滞留車を保存します。
 総重/空車ボタンを押すと滞留車を保存して印字します。

滞留車の計量値④は滞留車作成時に印字していれば、一覧表中の“状態”と同様に、総重量、空車重量として表示します。印字していなければ、計量機能で滞留車の扱いの設定によります。ここで、薄い青色部分⑤を押して滞留車データを変更した後に、**設定完了**、**空車**、**総重**のいずれかのボタンを押します。(滞留車変更では車番、コード番号が変更可能です。)

設定完了 ボタン⑥を押すと、滞留車データを変更します。

空車 ボタン⑦を押すと、計量値を空車重量として滞留車データを変更して印字します。

総重 ボタン⑧を押すと、計量値を総重量として滞留車データを変更して印字します。

5-2-2 滞留車発行

2. 滞留車発行 を選択すると、以下の画面のように滞留車の一覧が表示されます。

発行滞留車一覧 平成24年 5月23日 水曜日 9:07 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

車番	業者	名称	銘柄	名称	時刻	計量値 kg	状態
4123	104	鴻興商品回収	205	古新聞	17:53	1700	初回重量
4521	100	広域リサイクルセンター	103	一般廃棄	14:40	1570	初回重量
4758	103	小林リサイクル	205	古新聞	16:21	5270	初回重量
4949	108	中村興業	209	有筋がれき	08:44	840	空車重量
5656	150	ABC産業株式会社	302	危険物一薬品	09:45	990	初回重量

戻る
 ① 滞留車発行

検索 登録件数 5 / 500

② データを選び、滞留車発行ボタンを押して下さい。

ここで、伝票発行する滞留車の行を押すと反転表示になり、**滞留車発行** ボタン①を押すと、滞留車発行画面で選択した滞留車データが表示されます。

検索②に車番を入力すると、入力した車番の滞留車が反転表示します。

滞留車発行		平成24年 5月23日 水曜日 9:08		計量	メニュー
スケール	1	kg		センターゼロ	安定
伝票番号		空車重量			
車番	5656	0			
業者	150	7	8	9	後退
銘柄	302	4	5	6	消去
総重量	9:4	1	2	3	閉じる
空車重量	:	0	設定		
正味重量					
空車重量を入力して下さい。 数値未入力で設定ボタンを押して入力無しとすることもできます。					

滞留車の計量値は滞留車作成時に印字していれば、一覧表中の“状態”と同様に総重量、空車重量として表示します。印字していなければ、計量機能で滞留車の扱いの設定によります。上記例では計量値が総重量となっているので、空車重量を入力して正味重量を算出後に **印字** ボタンを押します。

滞留車発行では計量値をキー入力しますので、“計量時間”は入力できません。

印字 ボタンを押した後、登録確認のダイアログ、印字確認のダイアログを順に表示します。それぞれ必要ならば **はい** のボタンを押してください。

入力を間違えたときは、ダイアログを閉じてから **入力戻り** ボタンを押します。

1つ前の項目を入力するためのダイアログを表示します。

印字 ボタンを押す前に薄い青色の部分を押すと、伝票データを変更できます。

5-2-3 滞留車一覧印字

3. 滞留車一覧印字 を選択すると、滞留車の一覧を表示します。

ここで、一覧印字する滞留車の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

車番	業者	名称	銘柄	名称	時刻	計量値 kg	状態
4123	104	鴻巣産品回収	205	古新聞	17:53	1700	初回重量
4521	100	広域リサイクルセンター	103	一般廃棄	14:40	1570	初回重量
4758	103	小林リサイクル	205	古新聞	16:21	5270	初回重量
4949	108	中村興業	209	有筋がれき	08:44	840	空車重量
5656	150	ABC産業株式会社	302	危険物-薬品	09:45	990	初回重量
7070	23	南区清掃センター	203	粗大ゴミ-C	09:00	7330	総重量

一覧印字 ボタン①を押すと、確認のダイアログを表示した後、選択した滞留車の一覧印字をします。

選択解除 ボタン②を押すと選択を解除し、全選択 ボタン③を押すと、全ての滞留車データを選択します。

5-2-4 滞留車削除

4. 滞留車削除 を選択すると、滞留車の一覧を表示します。

ここで、削除する滞留車の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

削除 ボタンを押すと確認のダイアログを表示した後、選択した滞留車を削除します。

選択解除 ボタンを押すと選択を解除し、全選択 ボタンを押すと、全ての滞留車データを選択します。

5-3 集計

メインメニューで **3.集計** を選択すると、以下の画面を表示します。

集計条件 平成24年 5月23日 水曜日 10:31 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

掛け合わせ項目 集計期間

1 平成 24年 平成 24年

2 5月 ~ 5月

3 23日 23日

① 車番 銘柄 業者 行先 その他 キャンセル ②

戻る

集計を行う項目の掛け合わせを指定して下さい。
集計条件確定前に集計期間を変更することもできます。

以下の手順により日計元帳の集計を行います。

- 1) 集計の掛け合わせ項目①を最大3つまで選択します。
直前の入力を取り消すには **キャンセル** ボタン②を押します。
- 2) 集計期間③を変更します。現在の年月日の1日の集計の場合、変更は不要です。

掛け合わせ項目の選択、集計期間の変更をすると以下の画面になります。

集計条件 平成24年 5月23日 水曜日 10:32 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

掛け合わせ項目 集計期間

1 車番 平成 24年 平成 24年

2 銘柄 5月 ~ 5月

3 業者 21日 23日

車番 銘柄 業者 行先 その他 キャンセル

戻る

確定

集計を行う項目の掛け合わせを指定して下さい。
条件の指定が完了したら確定ボタンを押して下さい。

ここで、**確定** ボタンを押すと集計結果を表示します。

集計一覧 平成24年 5月23日 水曜日 10:37 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

車番	累計回数	累計重量 kg
0718	1	5980
4649	2	12880
5963	1	10660
6741	1	6510
7253	1	3730
8783	1	1970

戻る

集計期間 平成 24年 5月 21日 ~ 平成 24年 5月 23日 選択解除

印字

①

②

印字ボタンを押すと集計印字を行います。
選択解除ボタンを押すとデータの選択を解除します。

最初集計結果を全て選択した状態になります。[印字] ボタン①を押すと確認のダイアログを表示した後、集計印字を行います。

印字範囲を選択したい場合は [選択解除] ボタン②を押した後、印字する集計データの始めと終わりを指定してから [印字] ボタン①を押します。

5-4 車番登録

メインメニューで **4. 車番登録** を選択すると車番登録の一覧を表示します。

(新規登録)

一覧表示画面で **新規登録** ボタン①を押すと新規車番登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。

車番 → コード番号 → 空車重量 → 最大積載量の順に入力し、**登録** ボタンを押します。

車番登録前に薄い青色部分を押し、車番登録データを変更することができます。

空車重量を“0”で登録すると2回計量用の各項目の登録、最大積載量の登録として動作します。

(変更)

車番登録一覧画面で変更する車番の行を押すと以下の画面になります。

車番	業者	名称	銘柄	名称	空車重量 kg	最大積載量 kg
1028	101	100木工所	201	粗大ゴミ-A	800	20000
1413	102	200工務店	202	粗大ゴミ-B	950	30000
2983	103	小林リサイクル	203	粗大ゴミ-C	750	15000
3104	104	鴻業廃品回収	204	古タイヤ	1000	40000
32843	105	北本トマト運輸	205	古新聞	500	0
3745	106	エクリプス運送	206	産業廃棄物	1200	25000
4126	107	野呂商事	207	空缶	600	12000
4649	108	中村興業	208	無筋がれき	1000	22000

ここで **変更** ボタン②を押すと、車番登録変更画面に選択した車番登録データを表示します。薄い青色部分を押し、車番登録データを変更して、**登録** ボタンを押します。

(一覧印字／削除)

一覧印字／削除する車番登録の行の始めと終わりを押すと選択した範囲が反転表示します。

ここで **一覧印字** ボタン③／**削除** ボタン④を押すと、選択した車番登録を一覧印字／削除します。

選択解除 ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての車番登録データを選択します。

一覧表示画面で検索の車番を入力すると、入力した車番の登録データが反転表示します。

車番登録の最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲
車番	8文字	0～9、A～Z
項目コード	5桁	0～99999
空車重量	6桁(小数点含)	0～99999
最大積載量	6桁(小数点含)	0～99999

5-5 名称登録

メインメニューで **5.名称登録** を選択すると、以下の画面を表示し、名称の種類を選択します。

平成24年 5月23日 水曜日 15:56 計量 メニュー

スケール 1

センターゼロ
安定

kg

ゼロ

戻る

名称登録

1.業者

2.銘柄

3.行先

4.その他

5.JIS第二水準一覧

項目を選択して下さい。

1～4は内部設定で項目を使用する場合のみ表示します。

5は内部設定でAD-4385を使用する場合のみ表示し、名称登録の中のJIS第二水準一覧を表示します。名称登録時にAD-4385と接続されていれば、JIS第二水準のフォントをAD-4385に自動的に送信します。

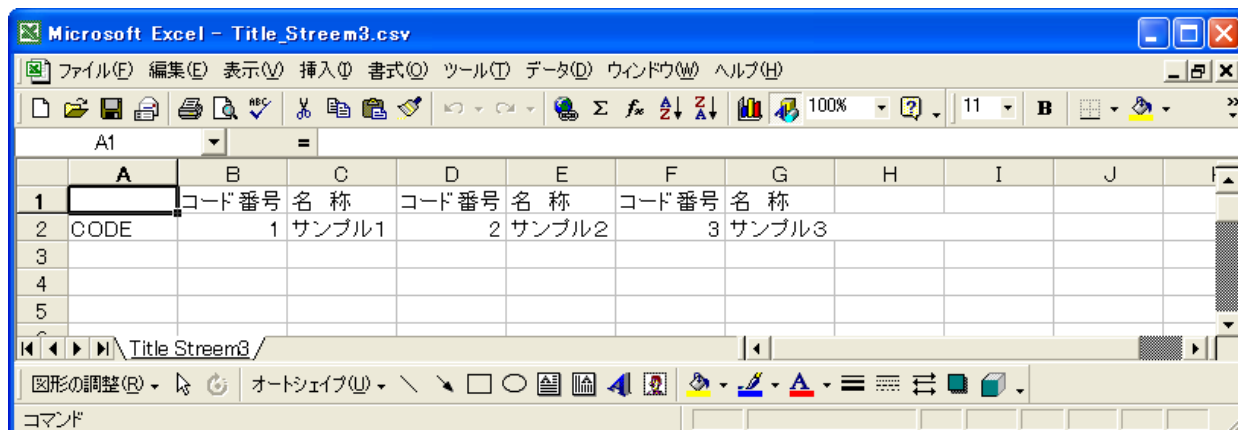
1～4は項目ごとにコード番号に対し名称を、新規登録、変更、一覧印字、削除を行います。それぞれの操作手順は同じです。

コード番号は最大5桁、名称は最大14文字まで入力可能です。

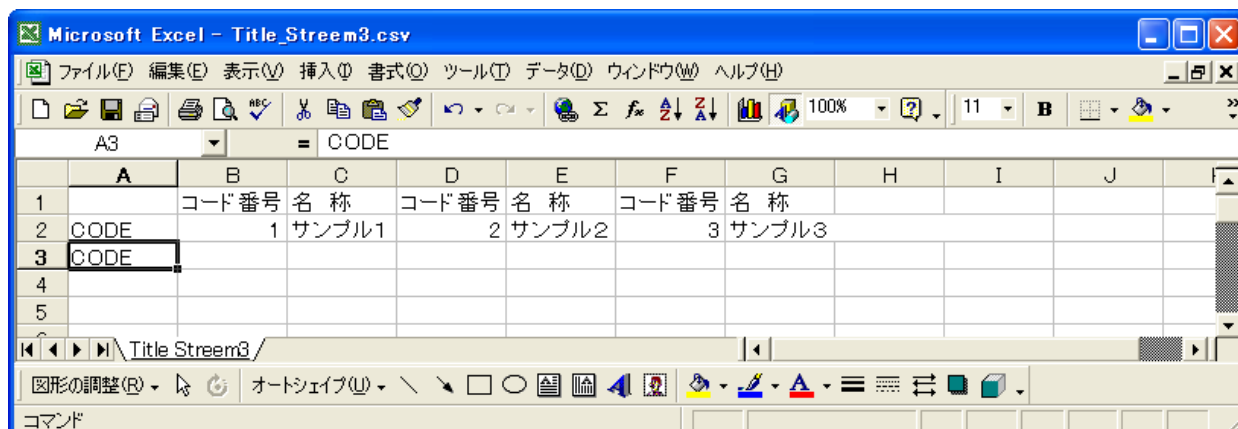
PC上で編集した名称データのCSVファイルの読み込みについて

名称データの新規登録は以下の5-5-1に示す手順によりAD-4352上で行うことが可能ですが、件数が増える場合は、登録する名称データをPC上で編集し、そのCSVファイルを読み込むことで作業が効率的に行えます。以下、その手順の一例を示します。

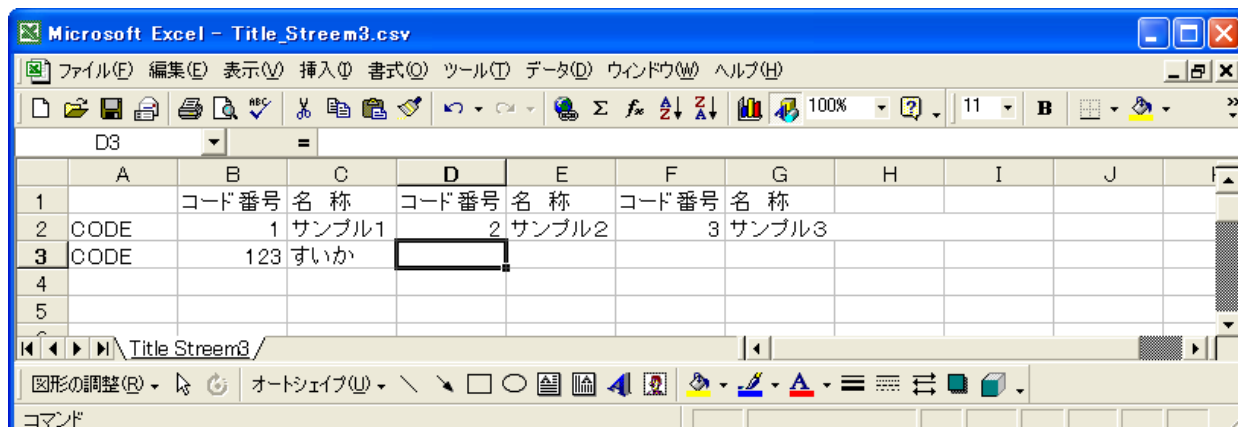
- ① AD-4352上で3件（CSVファイルの1行）分の名称登録を行う。
- ② ユーザー保守の「5. データの保存・読み込み」より、USBメモリに名称データを書き込む。
- ③ PC上でCSVファイルをエクセルで開く。
以下のような画面になります。



- ④ ここで、次の行の一番左の列に“CODE”をコピーして貼り付けます。
※名称データの一番左の列には必ず“CODE”が必要になります。



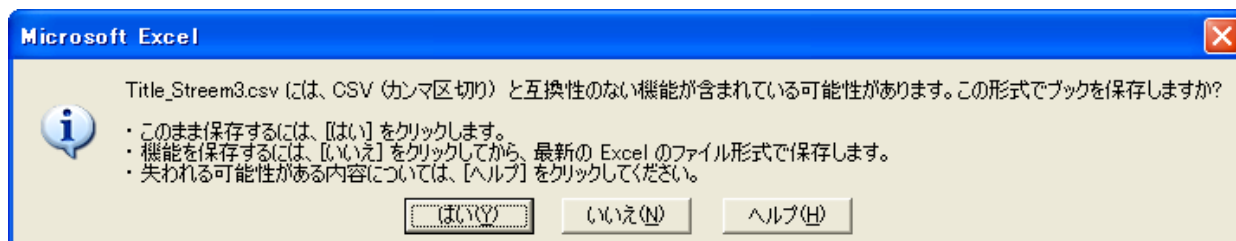
- ⑤ その次の列に重複しないコード番号、さらに次の列に全角最大14文字で名称を入力します。
※1つの名称データは必ずコード番号/名称の組み合わせになります。



- ⑥ コード番号と名称の組み合わせは1行に最大3つまで入力可能です。また、1行に1つまたは2つでも構いません。さらに追加する場合は、一番左の列に“CODE”をコピーして張り付けるところから始めます。
- ⑦ 編集した内容を上書き保存します。
下記画面で「保存」ボタンを押します。
※ファイル名は変更せず、CSVファイルで保存します。



※以下のような画面が出てくるかもしれませんが、構わず「はい」を押します。



- ⑧ ユーザー保守の「5. データの保存・読込」より、USBメモリから名称データを読み込みます。

注意 1)

A D - 4 3 5 2 で表示できる文字は J I S 第一水準と J I S 第二水準のみであり、以下に示す N E C 特殊フォントは対応していませんので、P C で登録する名称データを作成する際には注意してください。

①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、
⑲、⑳

I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX、X

ミリ、キロ、センチ、メートル、グラム、トン、アール、ヘクタール、リットル、ワット、ドル、セント、パーセント、ミリ、センチ

mm、cm、km、mg、kg、cc、m²、

平成、No.、KK、TEL、Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ、Ⓔ、Ⓕ、Ⓖ、大正、昭和

≡、∫、∮、Σ、√、⊥、∠、⊏、△、∴、∩、∪

J I S 第一水準、第二水準以外の文字を読み込んだ場合には★マークとして表示しますので、改めて登録し直す作業をお願いします。

例外として、“株”は“(”“株”“)”の3文字として読み込み、同様に(有)、(代)も3文字に置き換え読み込みます。

注意 2)

P C で項目名称登録データを作成の際に、半角文字で作成したデータは読み込み可能ですが、この名称データを含んだ計量伝票を発行すると、印字不良を起こします。

P C で項目名称データを編集する際は、必ず全角で行うようお願いします。

注意 3)

P C 上で編集した名称データを最大登録件数(4000件)を超えての読み込みは可能ですが、動作の保障はできません。他の登録データも同様です。

5-5-1 新規名称登録

2. 銘柄 を選択すると、銘柄のコード番号に対する名称の一覧を表示します。
ここで **新規登録** ボタンを押すと、以下のように新規名称登録画面になり、コード番号入力のダイアログを表示します。

The screenshot shows the '新規名称登録' (New Name Registration) screen. At the top, it displays the date and time: '平成24年 5月23日 水曜日 15:58'. Below this, there are buttons for '計量' (Measurement) and 'メニュー' (Menu). The main display area shows 'スケール 1' (Scale 1) and 'kg' with a green scale icon. There are also buttons for 'センターゼロ' (Center Zero) and '安定' (Stable). Below the display, there is a table with 'コード番号' (Code Number) in the header and a single cell containing '0'. To the right of this table is a numeric keypad with buttons for digits 0-9, '後退' (Back), '消去' (Delete), '閉じる' (Close), and '設定' (Settings). At the bottom of the screen, a blue bar contains the text 'コード番号を入力して下さい。' (Please enter the code number.)

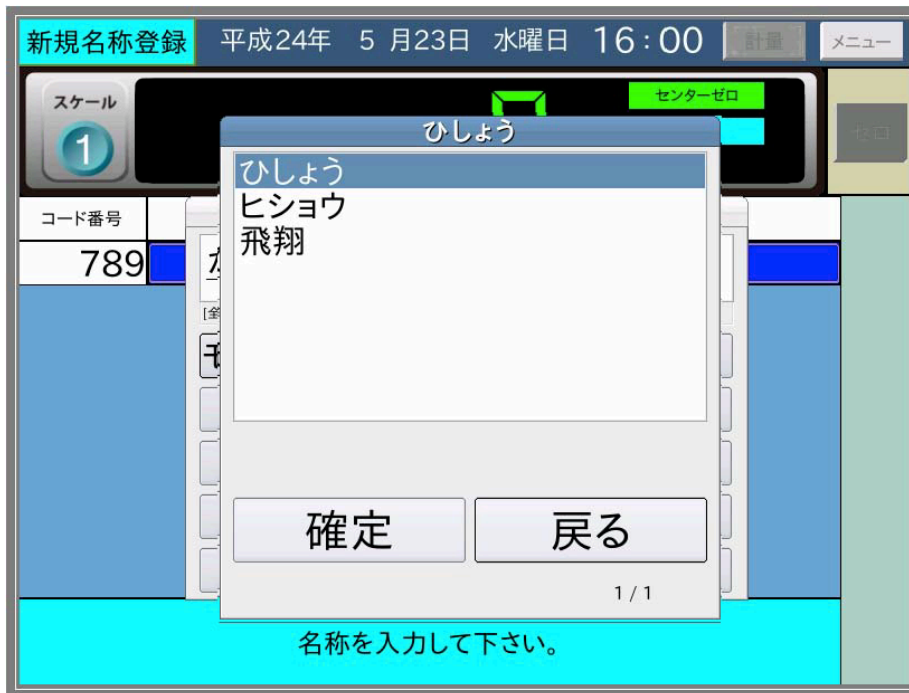
ここでコード番号を入力すると、名称登録のダイアログを表示します。

The screenshot shows the '新規名称登録' (New Name Registration) screen after entering the code number. The top part is the same as the previous screenshot. The table now shows 'コード番号' (Code Number) with the value '789'. To the right of the table is a character input keypad. It has a header '名称' (Name) and a text input field. Below the field, there are buttons for 'モード' (Mode), '変換' (Convert), '確定' (Confirm), '<', and '>'. The keypad also includes buttons for hiragana characters: 'あ', 'か', 'さ', '後退', 'た', 'な', 'は', '消去', 'ま', 'や', 'ら', '閉じる', 'っ', 'わをん', 'SP', and '設定'. At the bottom of the screen, a blue bar contains the text '名称を入力して下さい。' (Please enter the name.)

“あ” “か” などの文字のボタンは平仮名の50音の各行の先頭を示します。
 続けて押すと、“あ” → “い” → “う” → “え” → “お” のように文字が変化していきます。
 モードボタンは 全角かな→全角英字→全角数字→全角かな と入力文字の種類を変化させます。
 変換 ボタンは、かな入力を漢字に変換して変換候補を表示させます。
 確定 ボタンは、かな入力を漢字に変換せずに確定させます。
 “<” “>” ボタンは、入力した文字の間を移動して文字を挿入するときに使用します。

例えば、“飛翔珪砂-5号”を名称登録する場合を以下に示します。

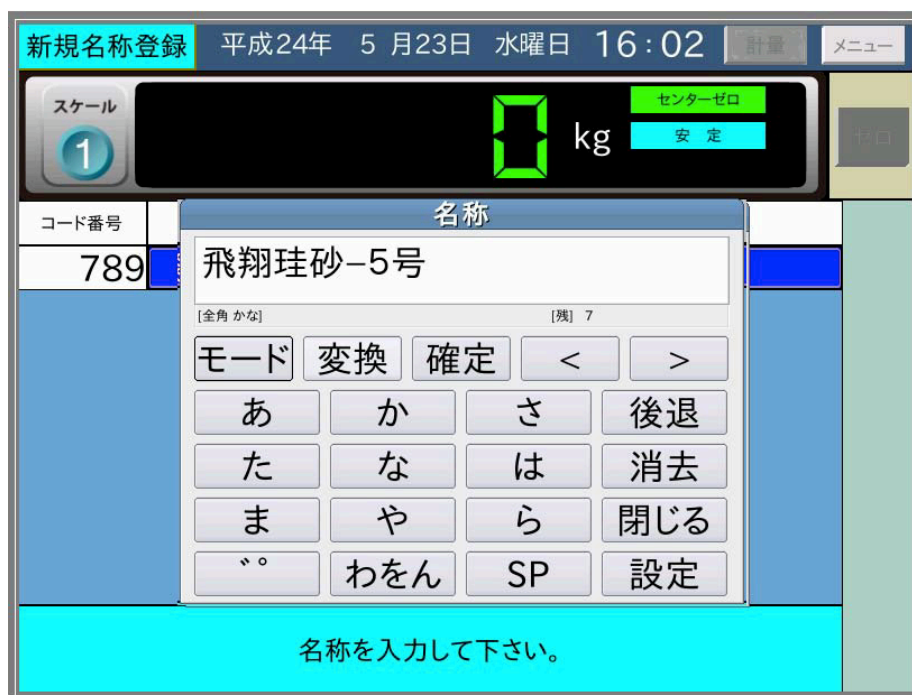
“ひ” “し” “ょ” “う” と順に入力して 変換 ボタンを押すと、以下のように変換候補を表示します。



“飛翔”を選択して 確定 ボタンを押すと以下のような表示になります。



さらに、“けい” **変換** “珪”、“さ” **変換** “砂”、と入力し“珪砂”を入力。
SP ボタンを押していき“ ” → “、” → “。” → “ー”が表示されたら **モード** ボタンを
 押し“5”を入力、続けて **モード** ボタンを押して“ごう”変換ボタンで、“珪砂ー5号”と
 入力します。



名称登録データがこれで良ければ **設定** ボタンを押します。
 すると以下のような表示になり、**登録** ボタンを押すと入力データを登録します。
登録 ボタンを押す前に薄い青色部分を押せば、名称登録データを変更することができます。



(入力できる記号)



“	“ (濁音の点)
。	。(ぱ、ぴなどのマル)
SP	(スペース)、(句点)。(まる) - (ハイフン) ・ (中央点) ! ?



{ [(({ → } → [→] → (→) → < → > → → /
@ * #	@ → * → # → ¥ → % → \$ → & → + → - → ! → ? → =
SP	(スペース) → “ → ‘ → ^ → ~ → ’ → , → . → : → ; → _



	{ → } → [→] → (→) → < → > → → /
SP	(スペース) → “ → ‘ → ^ → ~ → ’ → , → . → : → ; → _

5-5-2 名称登録変更

名称登録の種類として **2. 銘柄** を選択すると、銘柄のコード番号に対する名称の一覧を表示します。

ここで、変更する名称登録の行を押すと押した行が反転表示し、**変更** ボタン②を押すと名称登録変更画面に選択した名称登録データを表示します。

名称登録変更画面では、薄い青色部分を押して名称登録データを変更してから、**登録** ボタンを押します。名称の入力方法は新規名称登録と同じです。

5-5-3 名称登録一覧印字／削除

一覧印字／削除する名称登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。ここで **一覧印字** ボタン③／**削除** ボタン④を押すと、選択した名称登録を一覧印字／削除します。

選択解除 ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての車番登録データを選択します。

一覧表示画面で検索のコード番号を入力すると、入力したコード番号の名称が反転表示します。

5-5-4 コード番号0の登録

コード番号を0のまま新規登録すると、コード番号0で登録名称なし(ブランク)を登録できます。計量画面で名称一覧より選択入力するとき未入力で計量する場合に使用できます。

5-5-5 J I S 第二水準一覧表示

名称登録の種類選択で **5. J I S 第二水準一覧** を選択すると、名称登録データ内にある J I S 第二水準の文字を抽出して一覧表示します。

1	剪	6	熾	11		16		21		26		31		36	
2	翔	7	硅	12		17		22		27		32		37	
3	梃	8		13		18		23		28		33		38	
4	皓	9		14		19		24		29		34		39	
5	劔	10		15		20		25		30		35		40	

登録 ボタンを押すと、J I S 第二水準のフォントデータをAD-4385に送信します。ただし、名称登録時にAD-4385と接続していた場合にはこの必要はありません。

5-6 補正登録

補正には、水分、比重、単価の3種類があります。

内部設定で“登録”を使用する設定の場合に、メニュー画面に表示します。

水分、比重、単価の登録動作は共通なので、ここでは水分登録を例に補正登録を説明します。

メインメニューで **6. 水分登録** を選択すると、水分登録の一覧を表示します。

(新規登録)

一覧表示画面で **新規登録** ボタン①を押すと新規水分登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。

車番／コード番号／水分の順に入力し **登録** ボタンを押します。

車番登録前に薄い青色部分を押して、水分登録データを変更することができます。

補正登録を読み出すための条件は内部設定で、車番、項目1～4を使用するかしないか選択できます。

補正登録では内部設定で使用する項目のみ設定します。車番が未使用ならば最初にコード番号入力になります。

(変更)

水分登録一覧画面で変更する水分登録データの行を押すと以下の画面になります。

ここで **変更** ボタン②を押すと、水分登録変更画面で選択した水分登録データを表示します。薄い青色部分を押して水分登録データを変更して、**登録** ボタンを押します。

(一覧印字／削除)

一覧印字／削除する水分登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。ここで **一覧印字** ボタン③ / **削除** ボタン④を押すと、選択した水分登録を一覧印字／削除します。

選択解除 ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての水分登録データを選択します。

補正登録一覧表示では車番を使用する場合は車番による検索、車番を使用しない場合は表の一番左のコード番号により検索します。入力した車番及びコード番号の補正登録が反転表示されます。

補正登録の最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲
車番	8文字	0～9、A～Z
項目コード	5桁	0～99999
水分引	4桁(小数点含)	0～100
比重	4桁(小数点含)	0.01～9.99
単価	6桁(小数点含)	0～99999
基本重量	6桁(小数点含)	0～99999
増加重量	6桁(小数点含)	0.01～99999

5-6-1 重量範囲単価

内部設定で単価の使用を重量範囲単価とした場合は、メインメニューで **8. 単価登録** を選択すると重量範囲単価登録の一覧を表示します。

計量時に重量範囲単価を使用する場合は、計量中に入力することはできませんので、必ず登録が必要になります。

(新規登録)

一覧表示画面で **新規登録** ボタン①を押すと新規単価登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。

車番→コード番号→基本重量→基本金額→増加重量→増加金額の順に入力し、**登録** ボタンを押します。

単価登録前に薄い青色部分を押して、単価登録データを変更することができます。

(変更)

単価登録一覧画面で変更する単価登録データの行を押すと、以下の画面になります。

ここで **変更** ボタン②を押すと、単価登録変更画面で選択した単価登録データを表示します。薄い青色部分を押して水分登録データを変更して、**登録** ボタンを押します。

(一覧印字／削除)

一覧印字／削除する単価登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。ここで **一覧印字** ボタン③／**削除** ボタン④を押すと、選択した単価登録を一覧印字／削除します。

選択解除 ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての単価登録データを選択します。

検索機能については、他の補正登録と同様となります。

5-7 保守

各種設定、データの保存・読み込みを行います。

メインメニューで **9. 保守** を選択すると、以下の画面を表示します。



5-7-1 日付時刻設定

保守メニュー画面で **1. 日付時刻設定** を選択すると以下の画面を表示します。

年月日時分の薄い青色部分を押しして設定を変更します。



年、月、日、時、分、のそれぞれを設定しテンキーが消えると、最上部の日付・時間表示部に設定した値を表示して次の設定が可能となります。

5-7-2 基本機能設定

保守メニュー画面で **2. 基本機能設定** を選択すると、以下の画面を表示します。

バックライト消灯タイム	未使用	戻る
伝票番号	1	
輝度調整	▲ ▼	
キーロックボタンの使用	未使用	
集計開始年	2012 年	
集計開始月	5 月	
集計開始日	24 日	
集計開始時	10 時	
集計開始分	38 分	

設定値のボタンを押して設定変更して下さい。

バックライト 消灯タイム	計量モードの待機中のときに、ここで設定した時間に本器の操作、車両の乗車が無かった場合に、液晶画面表示をブランクさせる機能です。 画面のどこかをタッチするか、車両が乗車すると表示します。 設定値：未使用/1分/3分/5分/10分
伝票番号	現在の伝票番号を変更できます。番号の表示箇所をタッチすると、テンキーを表示し設定可能となります。同じ伝票番号が存在する場合には、連番の次の伝票番号になります。 また、ここで0を設定した場合、日付が翌日に替わり計量を行うと伝票番号が自動的に1から開始します。
輝度調整	液晶画面の輝度調整を行います。△を押すと画面が明るくなり▽を押すと暗くなります。暗くする設定の方が消費電力を押さえ寿命を長くします。電源を切っても保存します。
キーロックボタン	計量画面でタッチパネルの操作を禁止するためのボタンです。 設定値：使用/未使用
集計開始 年月日時分	計量時に集計を行う設定“計量画面での集計項目”＝“集計未使用”以外に設定したときに有効となる機能で、集計をクリアした時間を集計開始時間として表示します。ここでは閲覧のみで設定はできません。 計量伝票にここで表示する集計結果を印字させるには、“作成書式”による設定が必要となります。

初期値は と、網掛けで示します。

5-7-3 計量機能設定

保守メニュー画面で **3. 計量機能設定** を選択すると、以下の画面を表示します。

計量機能設定		平成29年 5月10日 水曜日 16:04		計量	メニュー
スケール	1	センターゼロ	安定	ゼロ	
滞留車の扱い	総重量	車番の入力方法	テンキー	戻る	
空車/総重での正味印字	無し	項目コードの入力方法	テンキー		
起動時の伝票番号設定	有り	計量画面での集計項目	集計未使用		
登録・集計の印字先	伝票プリンタ	滞留車からの車番登録	無し		
伝票プリンタへの伝票発行	無条件	最大積載量	0 kg		
レーザープリンタへの伝票発行	無し	集計印字の幅	A4フル		
PCRへの伝票発行	無条件	カードリーダ旧印字選択	無し		
過積載時の処理	計量続行				
過積載の判定重量	正味重量				
設定値のボタンを押して設定変更下さい。					

滞留車の扱い	2回計量の1回目の計量値を総重量として読み込むのか、空車として読み込むのかを設定します。 設定値：空車重量/総重量
空車/総重での正味印字	車番を入力せず、総重量、空車を印字する際に正味重量を印字する機能の有無を設定します。 設定値：無し/有り/単純計量 ※単純計量では、2回計量2回目に1回目の重量を入力し、正味を算出して印字します。(AD-4350 互換機能)
起動時の伝票番号の設定	本器を起動した時の伝票番号設定の有無を設定します。 無しの場合には、連番で起動します。 設定値：無し/有り
登録・集計の印字先	登録・集計印字を行うプリンタを指定します。 設定値：伝票プリンタ/レーザープリンタ
伝票プリンタでの伝票発行	本器に接続した計量伝票での印字条件を設定します。 設定値：無し/キー操作/無条件
レーザープリンタでの伝票発行	レーザープリンタでの伝票印字の有無を設定します。 設定値：無し/有り
PCRでの伝票発行	PCRでの伝票印字のための条件を設定します。 設定値：無し/カード挿入のみ/無条件
過積載時の処理	過積載エラー発生後の動作を設定します。 計量禁止では 確認 ボタンを押すと車番入力待ちになります。 設定値：計量続行/計量禁止
過積載の判定重量	過積載エラーの判定を総重量で行うのか正味重量で行うのかを設定します。 設定値：正味重量/総重量 ※過積載の判定重量を総重量にすると、最大積載量の表記は車両総重量になります。
車番の入力方法	計量時の車番の入力方法を設定します。 設定値：テンキーから/車番一覧から/滞留車一覧から
項目コードの入力方法	計量時の項目コードの入力方法を設定します。 設定値：テンキー入力/名称一覧表示から選択
計量画面での集計項目	計量時の集計項目を設定します。掛け合わせは1つのみです。 設定値：集計未使用/車番別/項目1別/項目2別/項目3別/項目4別
滞留車からの車番登録	2回計量1回目の滞留車データを車番登録するかどうかを設定します。 設定値：無し/有り

最大積載量	最大積載量を設定します。車番登録に最大積載量の設定が無い場合に、この値により過積載の判定を行います。 設定値： <input type="text" value="0kg"/>
集計印字の幅	集計印字の幅を設定します。 設定値： <input type="text" value="A4フル"/> / A4半分
カードリーダー 旧印字選択	<p>AD-4350 互換の印字先選択機能です。 設定値は以下の通りです。 <input type="text" value="無し"/>：以下の伝票発行の設定により印字を行います。 「伝票プリンタへの伝票発行」「PCR Pへの伝票発行」</p> <p>両方で印字：AD-4352、AD-4385/85A/85B の両方から印字します。</p> <p>モード1： (AD-4352 の操作で計量の場合) 計量時に印字選択します。 (AD-4385/85A/85B の操作で計量の場合) AD-4385/85A/85B からのみ印字します。</p> <p>モード2：印字選択します。</p> <p>モード3： (AD-4352 の操作で計量の場合) AD-4352 からのみ印字します。 (AD-4385/85A/85B の操作で計量の場合) AD-4385/85A/85B からのみ印字します。</p> <p>モード4： (AD-4352 の操作で計量の場合) 計量時に印字選択します。 (AD-4385/85A/85B の操作で計量の場合) AD-4352、AD-4385/85A/85B の両方から印字します。</p> <p>※印字選択の場合は、画面上にダイアログを表示し、以下の項目から印字先を選択します。 伝票プリンタ / カードリーダー (AD-4385/85A/85B) / 両方</p>

初期値は と、網掛けで示します。

5-7-4 音声ガイダンス

保守メニュー画面で **4. 音声ガイダンス** を選択すると、以下の画面を表示します。



ボリューム	音声のボリュームを設定します。 設定値：音声無し／小／ 中 ／大
起動時	起動時の音声を設定します。 設定値： 未使用 ／男声／女声
トラック乗車	トラック乗車時の音声を設定します。 設定値： 未使用 ／男声／女声／効果音のみ
1回目計量終了	2回計量1回目終了時の音声を設定します。 設定値： 未使用 ／男声／女声
降車待ち	降車待ちでの音声を設定します。 設定値： 未使用 ／男声／女声
伝票発行	伝票発行前の音声を設定します。 設定値： 未使用 ／男声／女声
過積載	過積載エラー時の音声を設定します。 設定値： 未使用 ／男声／女声
ひょう量オーバー	ひょう量オーバー時の音声を設定します。 設定値： 未使用 ／男声／女声
乗車音出力回数	乗車時の音声出力回数を設定します。 1回 ／3回／6回／12回／操作 ※操作の場合は、車番入力、トラック降車、計量及びメニューボタンなどの操作があるまで音声出力を続けます。

初期値は と、網掛けで示します。

5-7-5 保守情報

保守メニュー画面で **6. 保守情報** を選択すると、以下の画面を表示します。
プリンタ印字行数、ロードセル入力のmV/V、登録件数等を表示します。

保守情報		令和 3年 5月12日 水曜日 13:55		計量	メニュー
スケール 1	1230 kg			安定	ゼロ
保守情報					戻る
プリンタ印字行数	0 行	ソフトバージョン	Ver3.00		
スケール1 ロードセル入力	0.061730mV/V	プリンタタイプ	Aタイプ		
伝票	0 / 10000	1. 銘柄	0 / 4000	水分登録	0 / 1000
滞留車	0 / 500	2. 業者	0 / 4000	比重登録	0 / 1000
車番登録	0 / 4000	3. 行先	0 / 4000	単価登録	0 / 1000
		4. その他	0 / 4000		
表示のみで入力是不可です。					

5-8 データの保存・読込

保守メニュー画面で **5. データの保存・読込** を選択し、USBメモリを装着すると、以下の画面を表示します。



5-8-1 USBメモリへの保存

ここで、**USBメモリ** を選択すると、以下の画面を表示します。

解除 ボタンを押すとメモリの選択に戻ります。以下、データ保存・読込において **解除** ボタンは1つ前の状態に戻る機能となります。



注意 □ ここでUSBメモリに作成された各ファイルの日付の年は、現在の西暦に対し-20年された年になりますのでご注意ください。(2021年では2001年となります。)

さらに、「書込み」を選択すると以下の画面を表示します。

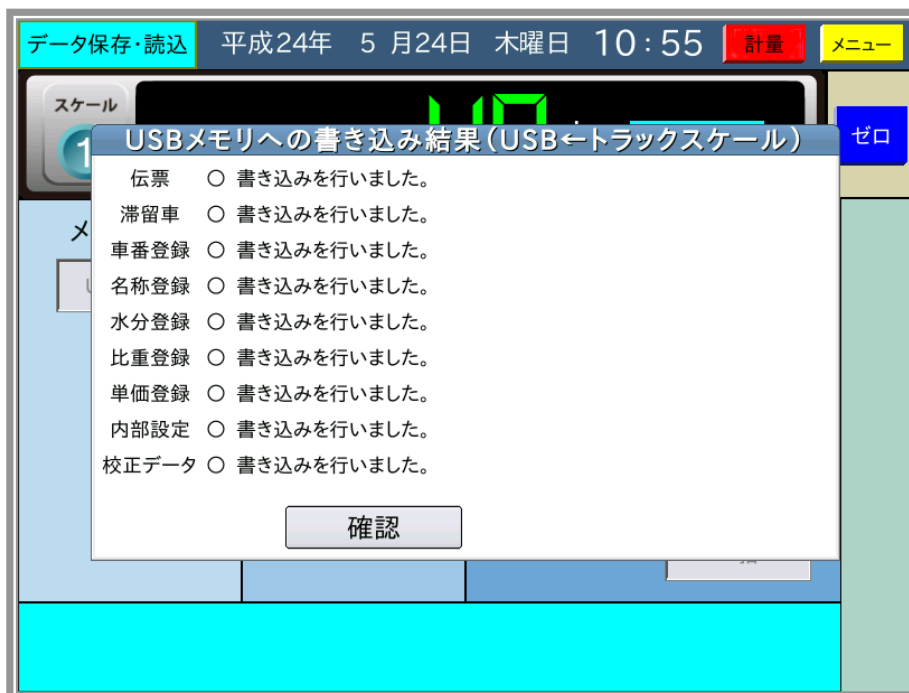
書込み項目として表示するのは、データが存在するものだけです。内部設定、校正データは常に表示します。



ここで、書込みを行うデータを選択して実行ボタンを押すと、それぞれのデータをUSBメモリにCSVファイルで保存します。

「一括」を選択すると全てのデータをUSBメモリに保存します。

書込みが終了すると、以下のように書込み結果の一覧を表示します。



書込みに失敗すると、赤字で×を表示します。

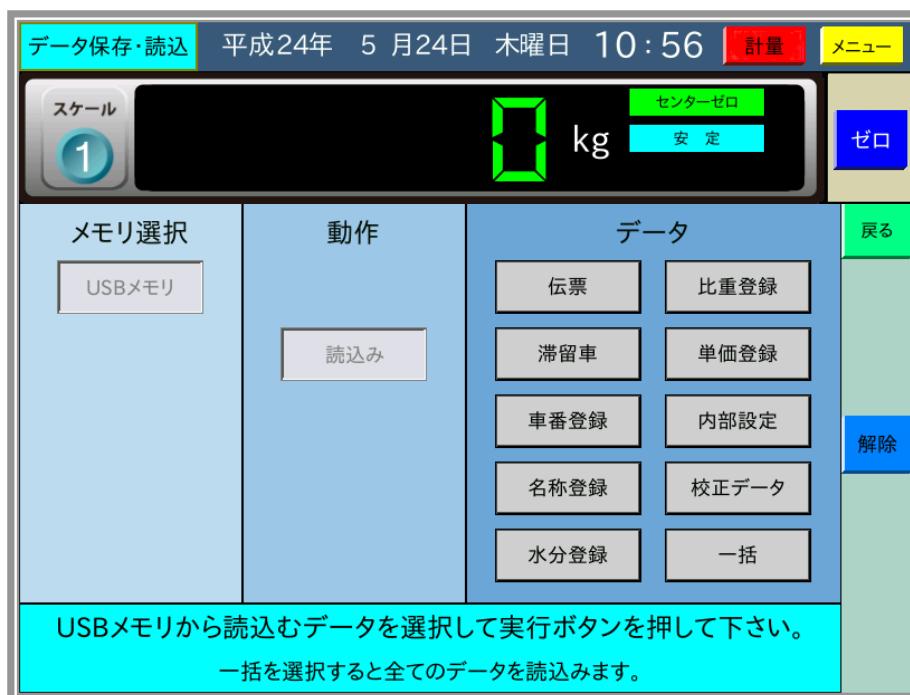
USBメモリに書き込まれるファイル名及びフォルダ名は以下のようになっています。

伝票	: Chit_Streem.csv	
滞留車	: Stay_Streem.csv	
車番登録	: Car_Streem.csv	
名称登録	: Title_Streem1.csv	←項目1の登録名称ファイル名
	Title_Streem2.csv	←項目2の登録名称ファイル名
	Title_Streem3.csv	←項目3の登録名称ファイル名
	Title_Streem4.csv	←項目4の登録名称ファイル名
水分登録	: Moi_Streem.csv	
比重登録	: Hij_Streem.csv	
単価登録	: Pric_Streem.csv	
内部設定	: inside_data (フォルダ)	
校正データ	: cal_data (フォルダ)	

内部設定と校正データは、上記名称のフォルダ内にテキストファイルが複数作成されます。各CSVファイルの先頭行には、出荷時設定でデータ名が付きます。

5-8-2 USBメモリからの読込

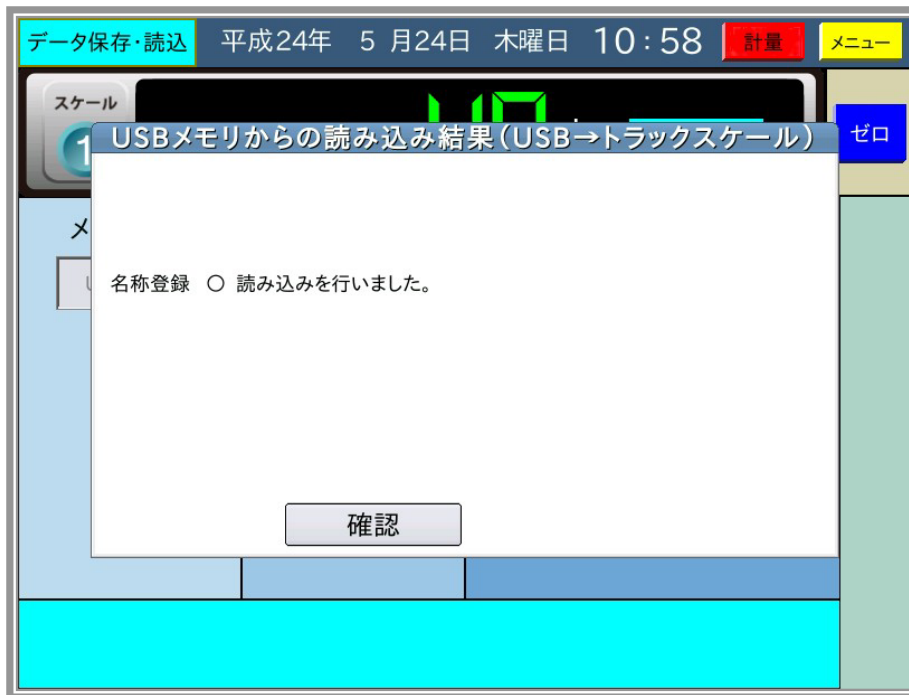
「USBメモリ」を選択後、「読込み」を選択すると以下の画面を表示します。読み込み項目として表示するのは、USBメモリ内にファイルが存在するものだけです。



ここで、読み込みを行うデータを選択して実行ボタンを押すと、それぞれのデータを本器に読み込みます。

伝票／滞留車／内部設定／校正データ及び一括の読込みの際は、パスワードの入力が必要になります。

名称登録 を選択して読み込みが終了すると、以下のように読み込み結果を表示します。



読み込みに失敗すると、赤字で×を表示します。

編集したファイルは、書式が完全に一致していないとエラーになりますので、編集したデータの読み込みには注意してください。

5-8-3 SDカードへの保存

ここで、SDカード を選択すると、以下の画面を表示します。



さらに、「バックアップ」を選択すると、以下の画面を表示します。



ここで、「はい」を選択すると、SDカードへ全データのバックアップを行います。バックアップが正常終了すると、以下の画面を表示します。



注意 □ SDカードにバックアップしたデータの復元は内部設定モードにて行います。

5-9 ICカードへの登録

以下の手順は、ICカードリーダー/ライターがUSBポートに正しく接続されている場合のみ有効です。

5-9-1 ICカードへの車番データの登録

新規車番登録でのICカードへの登録手順を示します。登録手順については、車番登録変更も同様です。

全ての項目を入力すると、登録待ちになります。ここで、ICカードをICカードリーダー/ライターの上に置いて、登録ボタンを押します。

新規車番登録 2016年 5月10日 火曜日 9:30 計量 メニュー

スケール 1 70 kg 安定 ゼロ

車番	1234		戻る
業者	101	中央清掃センター	
銘柄	201	処理灰-1	
空車重量	1500	kg	
最大積載量	0	kg	

登録

登録ボタンを押して下さい。
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

登録ボタンを押すと以下のようにダイアログを表示し、書込み先を「本体のみ」「カードのみ」「両方」から選択します。(リーダー/ライターが接続されていない場合は、ダイアログは表示せず、本体に登録します。)

新規車番登録 2016年 5月10日 火曜日 9:30 計量 メニュー

スケール 1 70 kg 安定 ゼロ

書込み先選択

書込み先を選択して下さい。

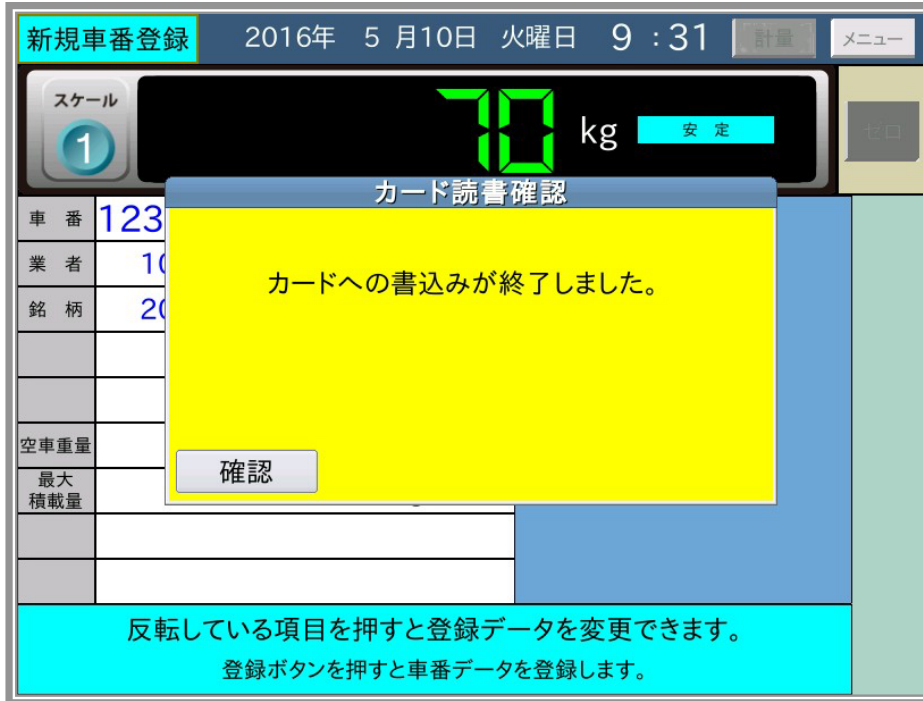
カードへの書込みは車番、コード番号のみです。

本体のみ カードのみ 両方 取消

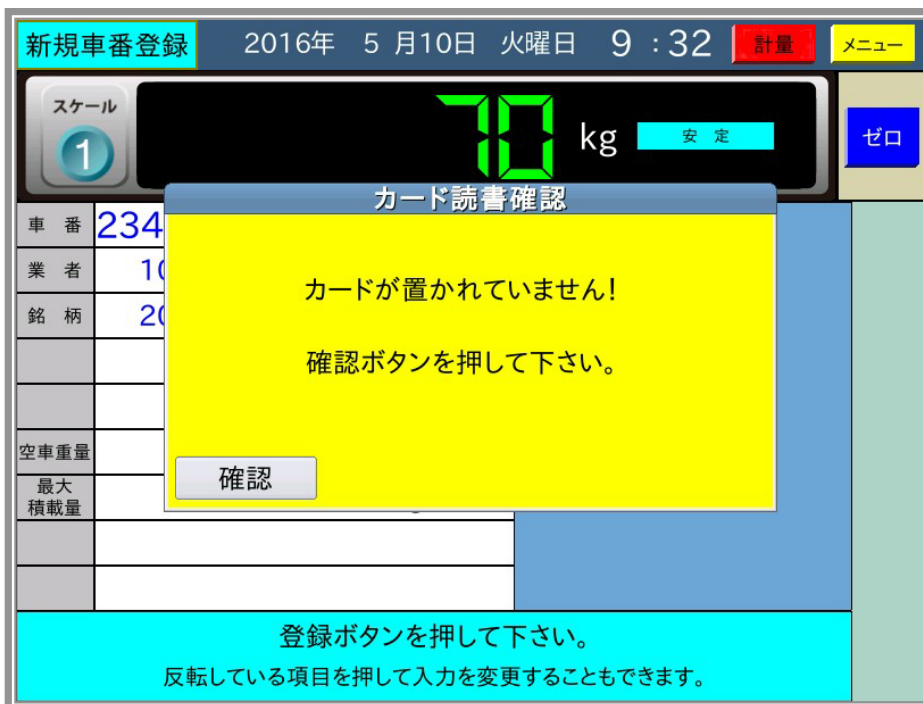
登録ボタンを押して下さい。
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

「本体のみ」を選択すると、カードへの書込みは行われず、本体のみの登録になります。
「カードのみ」を選択すると、本体への登録は行われず、カードのみの書込みになります。
「両方」を選択すると、本体とカードの両方に登録をします。
「取消」ボタンを押すと、登録待ちに戻ります。

カードへの書込みが正常に終了すると、以下のメッセージを表示します。



「カードのみ」または「両方」を選択したときに、ICカードリーダー/ライターがカードを検出しないと、以下のメッセージを表示します。「両方」を選択していても指示計への登録は行いません。



ここで確認ボタンを押すと、登録待ちに戻ります。

5-9-2 ICカードを使用した無人計量のための登録

無人計量に必要な、項目コード別コード番号データの登録、完了カード作成の手順を示します。

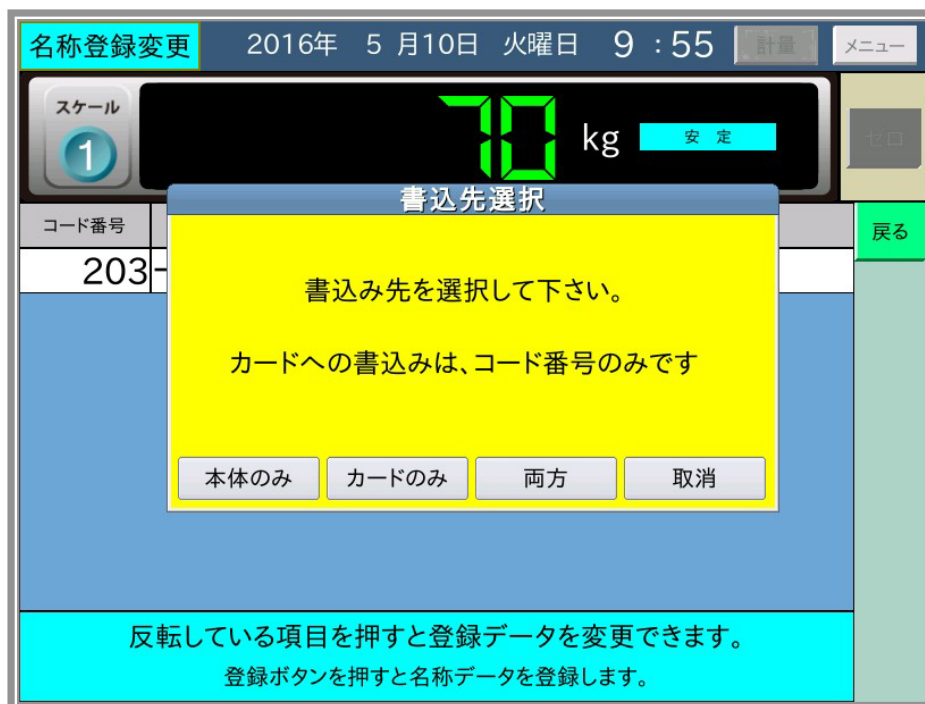
1. 項目コード別コード番号データの登録

名称登録変更でのICカードへの登録手順を示します。登録手順については、新規名称登録も同様です。

名称一覧表示からコード番号を選択すると、名称登録変更画面になり、選択したコード番号と名称を表示します。ここで、ICカードをICカードリーダー/ライタ上に置いて、登録ボタンを押します。

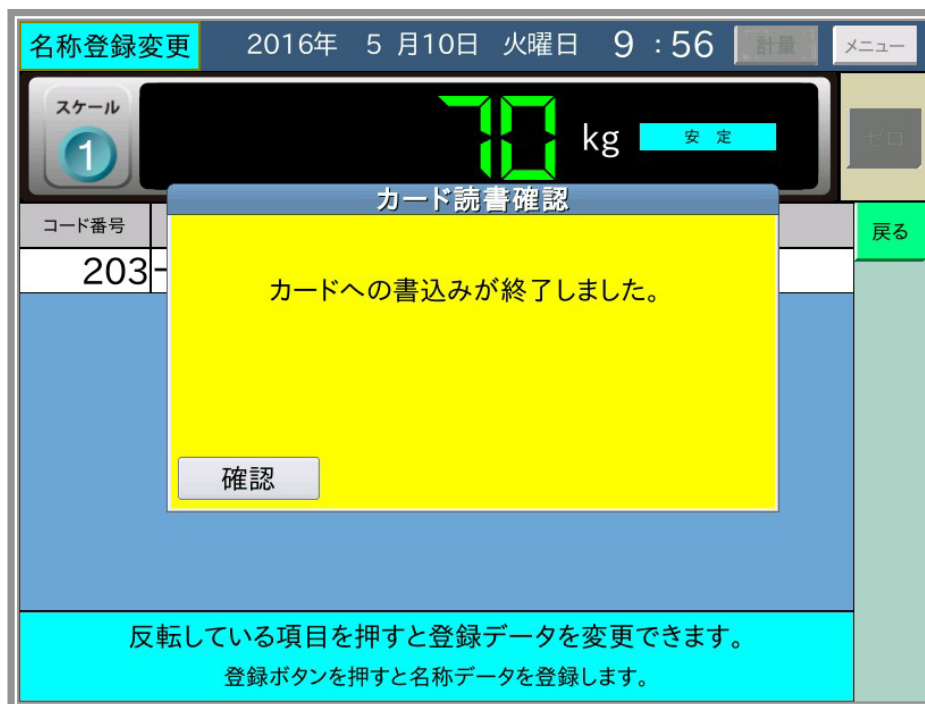


登録ボタンを押すと以下のようにダイアログを表示し、書込み先を「本体のみ」「カードのみ」「両方」から選択します。(リーダー/ライタが接続されていない場合は、ダイアログは表示せず、本体に登録します。)



ここで、「カードのみ」または「両方」を選択すると、ICカードに項目別のコード番号のデータを書き込みます。（ICカードに書込むのはコード番号のみで、名称は書き込みません。）

カードへの書き込みが正常に終了すると、以下のメッセージを表示します。エラー時の処理は、車番データの登録と同様です。

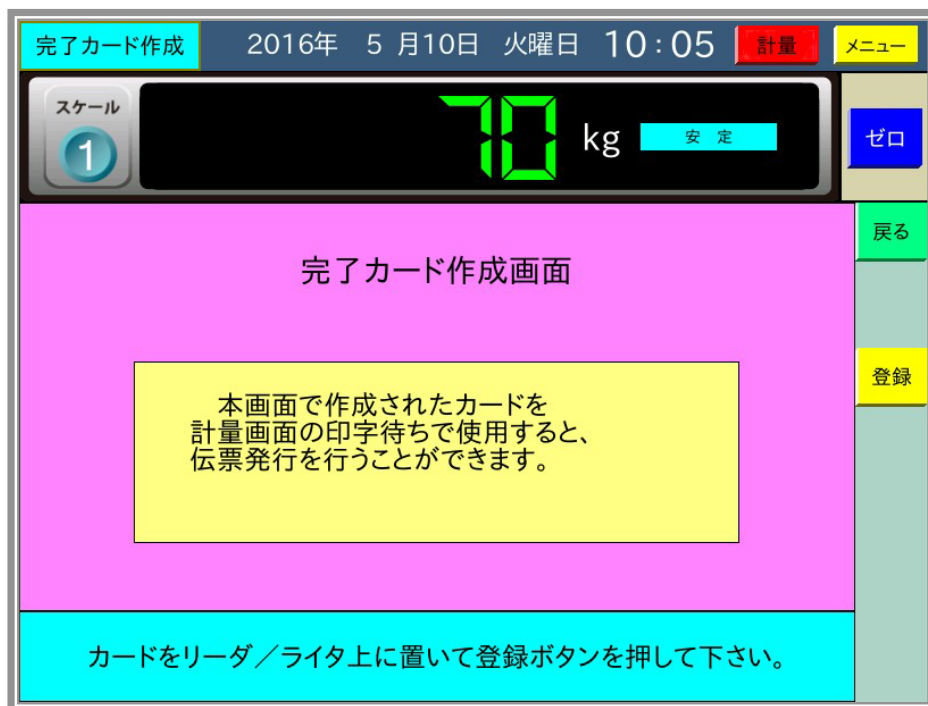


2. 完了カードの作成手順

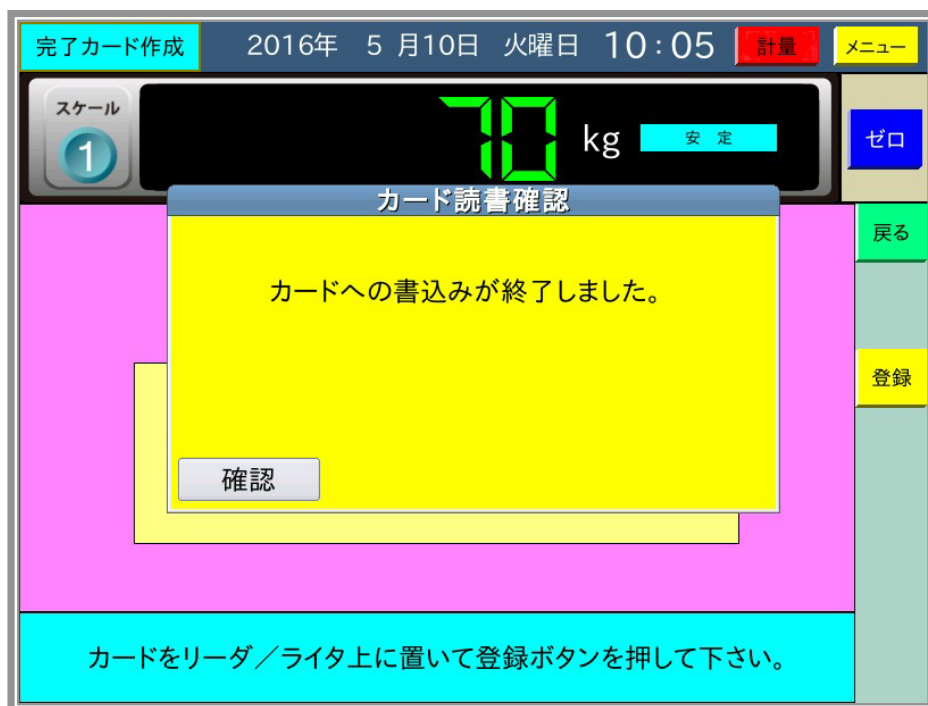
メインメニューで「10. 完了カード作成」を表示します。



ここで、「10. 完了カード作成」を選択すると、以下のように完了カード作成画面になります。



ここで、ICカードをICカードリーダー/ライター上に置いて、登録ボタンを押すと、印字ボタンの代わりとなる完了カードが作成されます。



5-9-3 ICカードへの書込みデータの確認

ICカードへの書込みデータの確認手順を示します。

メインメニューで「9. 保守」を選択すると、保守項目の中に「8. カード読み込みテスト」ボタンを表示します。



ここで、「8. カード読み込みテスト」を選択すると、カード読み込みテスト画面になります。



ここで、ICカードをICカードリーダー/ライター上に置いて、「読込」ボタンを押すと、ICカードの内容を読み込んで表示します。

カード読込テスト		2016年 5月10日 火曜日 9:50		計量	メニュー
スケール 1	70 kg 安定			ゼロ	
車番	1234		[Blue Area]	戻る	
業者	101	中央清掃センター		読込	
銘柄	201	処理灰-1			
カードをリーダー/ライター上に置いて読込ボタンを押して下さい。					

6 印字例

6-1 伝票印字

Aタイプ：カード式プリンタ（複写用紙、単票）

計 量 伝 票		
回数 日付	No.4352	24. 5. 24
車 番	8739	
業 者	150 ABC産業株式会社	様
銘 柄	206 産業廃棄物	
総重量	15:26	15680kg
空 車	15:27	2890kg
正 味	12790kg	
備 考		サイン

取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車、正味、また補正機能を有するときには、その補正内容（水分／比重／単価）など、印字データが何を示すものなのかが明確に印刷された用紙を、必ずご使用ください。

B/BNタイプ：発行式プリンタ（複写用紙、連続紙）

計 量 書

No.4352		24. 5. 24
車 番	8739	
業 者	150 ABC産業株式会社 様	
銘 柄	206 産業廃棄物	
総重量	15:26	15680kg
空 車	15:27	2890kg
正 味	12790kg	

サイン

取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車、正味、また補正機能を有するときには、その補正内容（水分／比重／単価）など、印字データが何を示すものなのかが明確に印刷された用紙を、必ずご使用ください。

Cタイプ：幅広ドットプリンタ（複写用紙、連続紙）

計 量 書

No. 4352 2018. 2. 6		
車番	8739	
業者	150 ABC産業株式会社 様	
銘柄	206 産業廃棄物	
総重量	10:39	15410kg
空車	10:40	3710kg
正味		11700kg
サイン		

Bタイプと同じ印字用紙が使用可能です。（文字は少し大きくなります。）

1行の最大印字文字数は以下の通りです。

Bタイプ： 22文字

Cタイプ： 20文字

取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車、正味、また補正機能を有するときには、その補正内容（水分／比重／単価）など、印字データが何を示すものなのかが明確に印刷された用紙を、必ずご使用ください。

Dタイプ：サーマルプリンタ（感熱紙、連続紙）

計 量 書				計 量 書 (客先)				計 量 書 (控え)			
No. 5963		30. 2. 5		No. 5963		30. 2. 5		No. 5963		30. 2. 5	
車 番	12345678			車 番	12345678			車 番	12345678		
業 者	12345 株式会社北本エンジニアリング			業 者	12345 株式会社北本エンジニアリング			業 者	12345 株式会社北本エンジニアリング		
銘 柄	23456 不燃ごみ (金属類)			銘 柄	23456 不燃ごみ (金属類)			銘 柄	23456 不燃ごみ (金属類)		
運転手	34567 田中実			運転手	34567 田中実			運転手	34567 田中実		
その他	45678 取扱注意			その他	45678 取扱注意			その他	45678 取扱注意		
総 重	15:30	10260kg		総 重	15:30	10260kg		総 重	15:30	10260kg	
空 車	15:32	2160kg		空 車	15:32	2160kg		空 車	15:32	2160kg	
正 味	8100kg			正 味	8100kg			正 味	8100kg		
備 考		サイン		備 考		サイン		備 考		サイン	
株式会社イー・アンド・デイ 〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243 TEL 048-593-1342 FAX 048-593-1117				株式会社イー・アンド・デイ 〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243 TEL 048-593-1342 FAX 048-593-1117				株式会社イー・アンド・デイ 〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243 TEL 048-593-1342 FAX 048-593-1117			

印字用紙は複写式ではないので、計量伝票のタイトルを除いて3枚続けて（出荷時設定）同じ内容の印字をし、伝票発行後はオートカッターにより切り離されます。

それぞれの伝票はパーシャルカット（中央1点残し）されますので、容易に切り離すことが可能です。

印字用紙は無地の感熱紙を使用しますので、計量伝票のタイトル、罫線を含めて全ての内容を印字します。

作成書式には対応しておりませんが、内部設定の変更により、可能な範囲で印字書式のカスタマイズが可能です。

6-2 レーザープリンタによる伝票印字

ポストスクリプト対応のレーザープリンタで、A4サイズの用紙に3枚の計量伝票を印刷します。
 ミシン目が入った市販用紙などをご利用ください。
 印字フォーマットは変更可能です。

計量証明書		計量証明書 (客先)		計量証明書 (控え)	
平成25年12月 3日 9:11 No.1234		平成25年12月 3日 9:11 No.1234		平成25年12月 3日 9:11 No.1234	
車番	1234A	車番	1234A	車番	1234A
銘柄	肥料-ABCDEF	銘柄	肥料-ABCDEF	銘柄	肥料-ABCDEF
業者	飛翔興行	業者	飛翔興行	業者	飛翔興行
行先	石川県金沢市	行先	石川県金沢市	行先	石川県金沢市
その他	四万十川	その他	四万十川	その他	四万十川
総重量	9:11 15980kg	総重量	9:11 15980kg	総重量	9:11 15980kg
空車重量	11980kg	空車重量	11980kg	空車重量	11980kg
正味重量	4000kg	正味重量	4000kg	正味重量	4000kg
補正	10kg 5個 3%	補正	10kg 5個 3%	補正	10kg 5個 3%
補正正味	3830kg	補正正味	3830kg	補正正味	3830kg
比重	0.97 4m ³	比重	0.97 4m ³	比重	0.97 4m ³
単価	15円	単価	15円	単価	15円
金額	5% 60322円	金額	5% 60322円	金額	5% 60322円
備考	サイン	備考	サイン	備考	サイン
埼玉県計量証明事業登録 第2013号 計量器 電気抵抗線式はかり ひょう量 40t 製造番号 XY-123456A 目量 10kg 主任計量者 さいたま太郎		埼玉県計量証明事業登録 第2013号 計量器 電気抵抗線式はかり ひょう量 40t 製造番号 XY-123456A 目量 10kg 主任計量者 さいたま太郎		埼玉県計量証明事業登録 第2013号 計量器 電気抵抗線式はかり ひょう量 40t 製造番号 XY-123456A 目量 10kg 主任計量者 さいたま太郎	
株式会社 エー・アンド・デイ		株式会社 エー・アンド・デイ		株式会社 エー・アンド・デイ	
1 本社		1 本社		1 本社	
2 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル		2 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル		2 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル	
3 TEL03-5391-6126 FAX03-5391-6129		3 TEL03-5391-6126 FAX03-5391-6129		3 TEL03-5391-6126 FAX03-5391-6129	
4 北本 開発技術センター		4 北本 開発技術センター		4 北本 開発技術センター	
5 埼玉県北本市あさひ 1-243		5 埼玉県北本市あさひ 1-243		5 埼玉県北本市あさひ 1-243	
6 TEL048-593-1111 FAX048-593-1234		6 TEL048-593-1111 FAX048-593-1234		6 TEL048-593-1111 FAX048-593-1234	
7 34567890123456789012345678901234		7 34567890123456789012345678901234		7 34567890123456789012345678901234	
8 aandd.com		8 aandd.com		8 aandd.com	

6-3 一覧印字

6-3-1 伝票一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

伝票一覧 平成24. 5. 24			
平成24/ 5/22	伝票番号	6	車 番 8783
業 者	150 ABC産業株式会社	銘 柄	103 一般廃棄
総重量	14:56	2880kg	空車重量 14:57 910kg
正味重量	1970kg		
平成24/ 5/22	伝票番号	7	車 番 4649
業 者	108 中村興業	銘 柄	208 無筋がれき
総重量	16:54	5170kg	空車重量 1000kg
正味重量	4170kg		

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

伝票一覧 平成24. 5. 24			
平成24/ 5/22	伝票番号	6	車 番 8783
業 者	150 ABC産業株式会社	銘 柄	103 一般廃棄
総重量	14:56	2880kg	空車重量 14:57 910kg
正味重量	1970kg		
平成24/ 5/22	伝票番号	7	車 番 4649
業 者	108 中村興業	銘 柄	208 無筋がれき
総重量	16:54	5170kg	空車重量 1000kg
正味重量	4170kg		

レーザープリンタ

伝票一覧 平成24. 5. 24				Page:1
平成24/ 5/22	No. 6	車 番	8783	
業 者	150 ABC産業株式会社	銘 柄	103 一般廃棄	
総重量	14:56	2880kg	空車重量	14:57 910kg
正味重量	1970kg			
平成24/ 5/22	No. 7	車 番	4649	
業 者	108 中村興業	銘 柄	208 無筋がれき	
総重量	16:54	5170kg	空車重量	1000kg
正味重量	4170kg			

6-3-2 滞留車一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

滞留車一覧 平成24. 5. 24			
車番	5656	初回重量	16:26 990kg
業者	150 ABC産業株式会社	銘柄	302 危険物-薬品
車番	7070	総重量	8:40 7070kg
業者	23 南区清掃センター	銘柄	203 粗大ゴミ-C

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

滞留車一覧 平成24. 5. 24			
車番	5656	初回重量	16:26 990kg
業者	150 ABC産業株式会社	銘柄	302 危険物-薬品
車番	7070	総重量	8:40 7070kg
業者	23 南区清掃センター	銘柄	203 粗大ゴミ-C

レーザープリンタ

滞留車一覧 平成24. 5.24			Page:1
車番	5656	初回重量	16:26 990kg
業者	150 ABC産業株式会社	銘柄	302 危険物-薬品
車番	7070	総重量	8:40 7070kg
業者	23 南区清掃センター	銘柄	203 粗大ゴミ-C

6-3-3 車番登録一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

車番登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	32843	空車重量	500kg 最大積載量 0kg
業者	105 北本トマト運輸	銘柄	205 古新聞
車番	3745	空車重量	1200kg 最大積載量 25000kg
業者	106 エクリプス運送	銘柄	206 産業廃棄物

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

車番登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	32843	空車重量	500kg
		最大積載量	0kg
業者	105 北本トマト運輸	銘柄	205 古新聞
車番	3745	空車重量	1200kg
		最大積載量	25000kg
業者	106 エクリプス運送	銘柄	206 産業廃棄物

レーザープリンタ

車番登録一覧 平成24. 5. 24				Page:1
車番	32843	空車重量	500kg	最大積載量 0kg
業者	105 北本トマト運輸	銘柄	205 古新聞	
車番	3745	空車重量	1200kg	最大積載量 25000kg
業者	106 エクリプス運送	銘柄	206 産業廃棄物	

6-3-4 名称登録一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

銘 柄登録一覧 平成24. 5. 24	
101 処理灰-1	102 普通灰-2
103 一般廃棄	201 粗大ゴミ-A
202 粗大ゴミ-B	203 粗大ゴミ-C
204 古タイヤ	205 古新聞
206 産業廃棄物	207 空缶

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

銘 柄登録一覧 平成24. 5. 24
101 処理灰-1
102 普通灰-2
103 一般廃棄
201 粗大ゴミ-A
202 粗大ゴミ-B
203 粗大ゴミ-C
204 古タイヤ
205 古新聞
206 産業廃棄物
207 空缶

レーザープリンタ

銘 柄登録一覧 平成24. 5. 24		Page:1	
101	処理灰-1	102	普通灰-2
103	一般廃棄	201	粗大ゴミ-A
202	粗大ゴミ-B	203	粗大ゴミ-C
204	古タイヤ	205	古新聞
206	産業廃棄物	207	空缶

6-3-5 補正登録一覧印字

水分登録を例に示します。

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

水分登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	6464		
業者	10 中央清掃センター	銘柄	202 粗大ゴミ-B
水分			10%
車番	7373		
業者	103 小林リサイクル	銘柄	204 古タイヤ
水分			12%

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

水分登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	6464		
業者	10 中央清掃センター	銘柄	202 粗大ゴミ-B
水分			10%
車番	7373		
業者	103 小林リサイクル	銘柄	204 古タイヤ
水分			12%

レーザープリンタ

水分登録一覧 平成24. 5. 24			Page:1
車番	6464	水分	10%
業者	10 中央清掃センター	銘柄	202 粗大ゴミ-B
車番	7373	水分	12%
業者	103 小林リサイクル	銘柄	204 古タイヤ

6-4 集計印字

6-4-1 掛け合わせ1つ

銘柄別集計を例に示します。

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

銘柄別集計一覧				
平成27. 7. 9～平成27. 7. 9				
銘柄	103	一般廃棄	1回	4200kg 8400円
銘柄	105	粗大ゴミ-B	1回	2940kg 8820円
銘柄	110	空缶	1回	3510kg 3510円
銘柄	111	無筋がれき	1回	7290kg 14580円
銘柄	115	残土	1回	3540kg 3540円
	合計		5回	21480kg 38850円

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

銘柄別集計一覧				
平成27. 7. 9～平成27. 7. 9				
銘柄	103	一般廃棄	1回	4200kg 8400円
銘柄	105	粗大ゴミ-B	1回	2940kg 8820円
銘柄	110	空缶	1回	3510kg 3510円
銘柄	111	無筋がれき	1回	7290kg 14580円
銘柄	115	残土	1回	3540kg 3540円
	合計		5回	21480kg 38850円

レーザープリンタ

銘柄別集計一覧印字				
平成27.7.9～平成27.7.9				
銘柄	名称	累計回数	累計重量	累計金額
103	一般廃棄	1回	4200kg	8400円
105	粗大ゴミ-B	1回	2940kg	8820円
110	空缶	1回	3510kg	3510円
111	無筋がれき	1回	7290kg	14580円
115	残土	1回	3540kg	3540円
	合計	5回	21480kg	38850円

6-4-2 掛け合わせ2つ

銘柄別業者別集計を例に示します。

レーザープリンタ

銘柄別業者別集計一覧印字 平成27.7.9～平成27.7.9											
銘柄	名称	業者	名称	銘柄回数	個別累計回数	銘柄重量	個別累計重量	銘柄金額	個別累計金額		
103	一般廃棄	203	広域リサイクルセンターABC	1回	1回	4200kg	4200kg	8400円	8400円		
105	粗大ゴミーB	206	小林リサイクル	1回	1回	2940kg	2940kg	8820円	8820円		
110	空缶	201	中央清掃センター	1回	1回	3510kg	3510kg	3510円	3510円		
111	無筋がれぎ	212	島田組	1回	1回	7290kg	7290kg	14580円	14580円		
115	残土	214	古川土建	1回	1回	3540kg	3540kg	3540円	3540円		
合計				5回		21480kg		38850円			

6-4-3 掛け合わせ3つ

銘柄別業者別車番別集計を例に示します。

レーザープリンタ

銘柄別業者別車番別集計一覧印字 平成27.7.9～平成27.7.9									
銘柄	名称	業者	名称	車番	個別累計回数	個別累計重量	個別累計金額		
103	一般廃棄	203	広域リサイクルセンターABC	3284	1回	4200kg	8400円		
105	粗大ゴミーB	206	小林リサイクル	9696	1回	2940kg	8820円		
110	空缶	201	中央清掃センター	0725	1回	3510kg	3510円		
111	無筋がれき	212	島田組	4527	1回	7290kg	14580円		
115	残土	214	古川土建	1028	1回	3540kg	3540円		
合 計					5回	21480kg	38850円		

7 エラーメッセージ

エラー発生時はダイアログ中の画面中央に、エラーメッセージを表示します。

7-1 起動時のエラーメッセージ

「カードリーダープリンタが未接続です！」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にカードリーダープリンタの未接続を検出した場合に表示します。 確認 ボタンを押せば計量可能です。(カードリーダープリンタを使用する設定時のみです。)
「カードリーダーが異常です！」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にカードリーダープリンタのカードリーダー部の異常を検出した場合に表示します。 確認 ボタンを押せば計量可能です。(カードリーダープリンタを使用する設定時のみです。)
「カードリーダープリンタの印字用紙がありません！」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にカードリーダープリンタの紙無しを検出した場合に表示します。 確認 ボタンを押せば計量可能です。(カードリーダープリンタを使用する設定時のみです。)
「計量禁止日です。」 「計量を行うにはパスワードの入力が必要になります。」	設定された計量禁止日に起動した場合に表示します。設置業者にお問い合わせください。
「データベース読出しエラーです。」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にデータベースの読出しでエラーが発生した場合に表示します。連続して発生するようでしたら修理依頼をしてください。

7-2 計量伝票発行時のエラーメッセージ

「ひょう量オーバーです。」 (最下行のメッセージ欄)	重量値がひょう量を超えると表示します。重量値がひょう量以下になると通常メッセージに戻ります。
「カードリーダープリンタと通信不良が起きます。」 (最下行のメッセージ欄)	カードリーダープリンタと通信不良が発生した場合に表示します。通信が正常に戻れば、通常表示に戻ります。
「車番登録がありません。」 「確認ボタンを押してください。」	車番入力時に車番登録が無い場合に表示します。車番登録が必要な設定時のみです。
「項目コードが未入力です。」 「確認ボタンを押してください。」	項目コード未入力で 設定 ボタンを押したときに表示します。コード入力が必要な設定時のみです。
「名称登録がありません。」 「確認ボタンを押してください。」	入力したコード番号の名称が未登録のときに表示します。名称登録が必要な設定時のみです。
「過積載です。」 「確認ボタンを押してください。」	総重量または正味重量が最大積載量を超えたときに表示します。総重量か空車重量、過積載後の動作は計量機能で設定変更可能です。
「カードリーダープリンタの印字が異常です！」 「確認ボタンを押してください。」	カードリーダープリンタの印字に異常が発生した場合に表示します。プリンタユニットの不良の可能性がります。
「カードリーダープリンタの印字用紙がありません！」 「確認ボタンを押してください。」	カードリーダープリンタの印字用紙の残りが少なくなった場合に表示します。
「計量値が負なので計量できません！」 「確認ボタンを押してください。」	重量値が負の状態でも車番入力または 設定完了 、 印字 ボタンを押したときに表示します。
「総重量入力がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	総重量の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。

「空車重量入力がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値がひょう量を超えている場合に 表示します。
「空車重量入力が目量切替重量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値が目量切替重量を超えている 場合に表示します。
「空車重量入力が総重量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値が総重量を超えている場合に 表示します。
「計量値が空車重量登録値より小さいです！」 「確認ボタンを押してください。」	計量値が空車重量登録値より小さい場合に表示 します。
「印字用紙をセットして確認ボタンを押してく ださい。」	印字 ボタンを押したときにAタイププリン タに印字用紙がセットされていない場合に表示 します。(登録・集計印字も共通)
「日計元帳がいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	伝票発行時に日計元帳件数が1万件の場合に表 示します。日計元帳がいっぱいの場合には新規伝 票の登録はできませんが伝票発行は可能です。
「日計元帳の残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 (数秒間)	伝票発行時に日計元帳件数が9500件以上にな ると表示します。日計元帳がいっぱいになる 前に不要な伝票を削除してください。
「滞留車メモリがいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	計量時に滞留車メモリが500件の場合に表示 します。滞留車メモリがいっぱいになると滞留 車メモリに無い車番での2回計量ができなくな ります。
「滞留車メモリの残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 (数秒間)	計量時に滞留車件数が450件以上になると表 示します。滞留車メモリがいっぱいになる前に 不要な滞留車データを削除してください。
「車番登録メモリがいっぱいなので登録できませ ん！」 「確認ボタンを押してください。」	計量時に車番登録メモリが4000件の場合に 表示します。滞留車から車番登録を行う設定の ときのみ表示します。
「車番登録メモリの残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 (数秒間)	計量時に滞留車件数が3900件以上になると 表示します。滞留車から車番登録を行う設定の ときのみ表示します。

7-3 登録時のエラーメッセージ

(車番登録)

「空車重量がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値がひょう量を超えている場合 に表示します。
「空車重量が目量切替重量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値が目量切替重量を超えている 場合に表示します。
「最大積載量がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	最大積載量の入力値がひょう量を超えている場 合に表示します。
「車番登録がいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	車番登録が4000件の場合に表示します。
「同じ車番の登録があります！」 「確認ボタンを押してください。」	車番登録変更時に既に登録してある車番を入力 したときに表示します。

(名称登録)

「名称登録がいっぱいなので登録できません！」	各名称登録が4000件の場合に表示します。
「同じコード番号の名称登録があります！」	名称登録変更時に既に登録してあるコード番号 を入力したときに表示します。

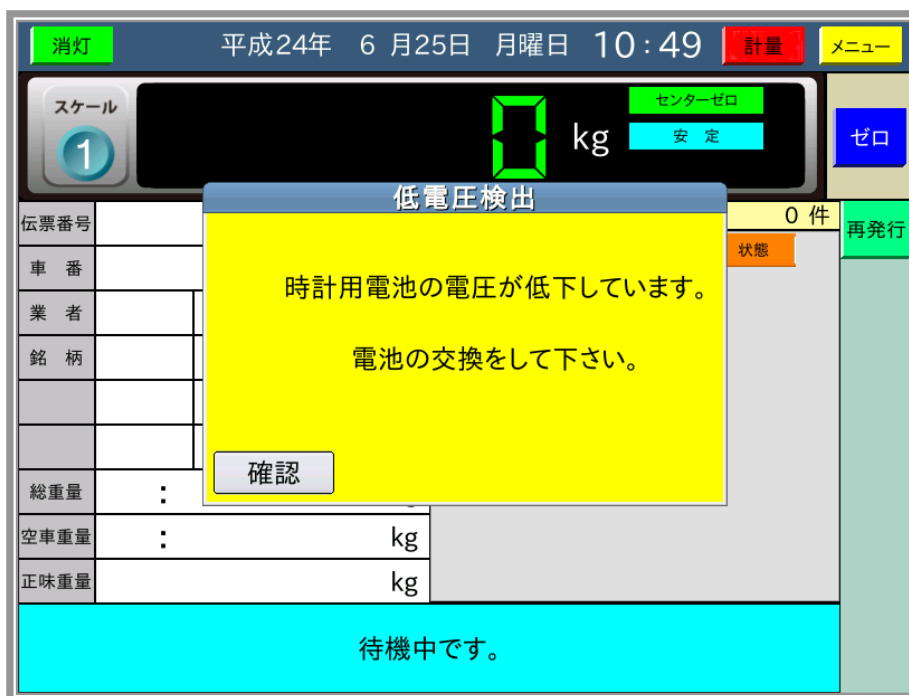
(補正登録)

「水分（または比重、単価）登録がいっぱいなので登録できません！」	各補正登録が1000件の場合に表示します。
「同じ車番／コード番号の登録があります！」	補正登録変更時に既に登録してある車番／コード番号を入力したときに表示します。 補正登録を行う際の車番、項目コードの組み合わせは内部設定にて設定します。

7-4 時計バックアップバッテリー交換のメッセージ

本器の時計をバックアップするバッテリーが低下し交換時期になると、交換を促すダイアログを表示します。バックアップバッテリーが切れるまで数週間以上の猶予はありますので、その間にバッテリーの交換を依頼してください。

確認 ボタンを押すと通常通りに使用可能です。表示している日時は念のため確認してください。バックアップバッテリーは時計をバックアップしています。計量データ、登録データへの影響はありません。万が一にバッテリーが切れた状態では日時を合わせた上でご使用ください。時計バックアップバッテリーの寿命は約10年です。



8 音声ガイダンス

音声ガイダンスの一覧を以下に示します。

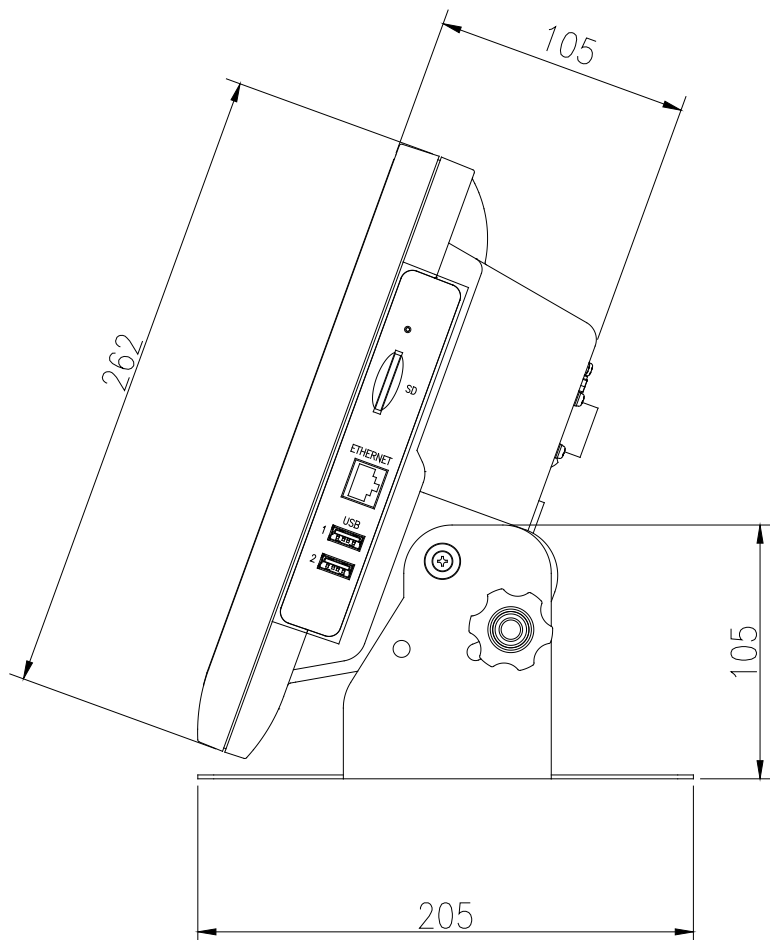
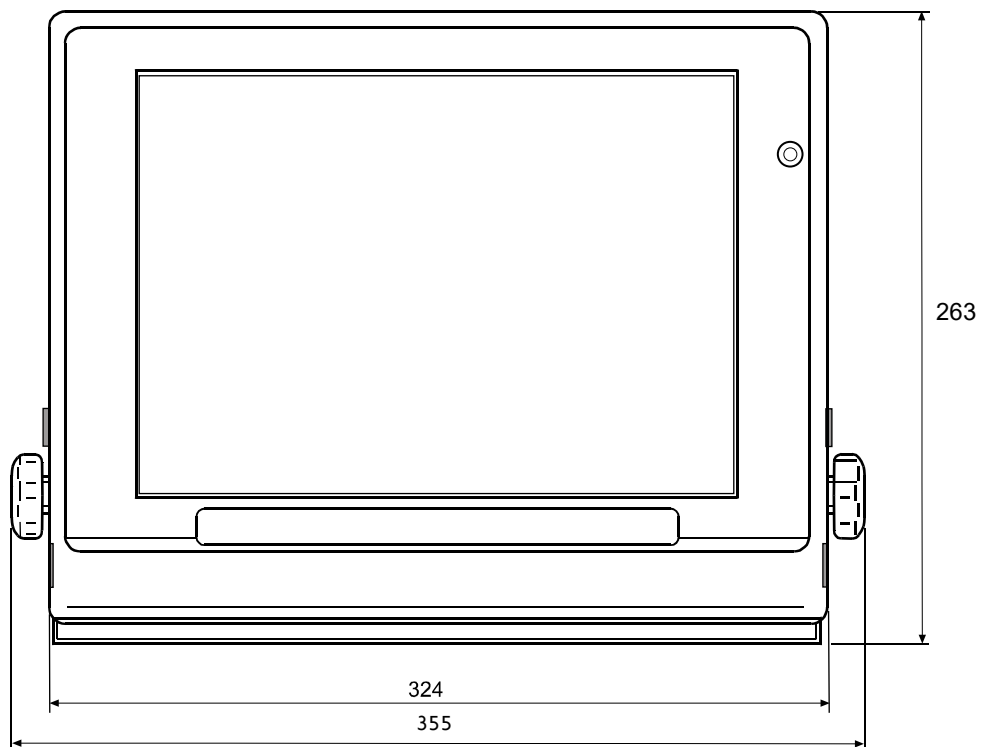
全ての音声ガイダンスは個別に男性の声、女性の声、未使用が設定可能です。

トラック乗車時は効果音のみの設定が可能です。

さらに、トラック乗車時は音声の出力回数を（1回／3回／6回／12回）及びオペレータの操作までの設定が可能です。

タイミング	音声ガイダンスの内容
起動時	「計量物が何も載っていないの確認し、 <input type="button" value="ゼロ"/> ボタンを押してください。」
トラック乗車	<ピンポン> 「トラックが乗車しました。」
2回計量1回目が必要な入力終了	「入力が終了しました。設定完了または印字用紙をセットして <input type="button" value="空車"/> 、 <input type="button" value="総重"/> ボタンを押してください。」
伝票発行待ち	「入力が終了しました。印字用紙をセットして <input type="button" value="印字"/> ボタンを押してください。」
降車待ち	「計量完了しました。降車してください。」
過積載	<エラー音> 「過積載です。積荷を降ろしてください。」
ひょう量オーバー	<エラー音> 「ひょう量オーバーです。」

9 外觀圖



單位：mm

[白紙]

使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

東日本 048-593-1743

西日本 06-7668-3908

受付時間:9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日（祝日、弊社休業日を除く）
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

AND 株式会社 **エー・アント・デイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

東京営業2課 TEL. 03-5391-6121(直)

東京営業3課 TEL. 03-5391-6122(直)

東京営業1課 TEL. 03-5391-6128(直)

札幌出張所 TEL. 011-251-2753(代)

仙台営業所 TEL. 022-211-8051(代)

宇都宮営業所 TEL. 028-610-0377(代)

東京北営業所 TEL. 048-592-3111(代)

東京南営業所 TEL. 045-476-5231(代)

静岡営業所 TEL. 054-286-2880(代)

名古屋営業所 TEL. 052-726-8760(代)

大阪営業所 TEL. 06-7668-3900(代)

広島営業所 TEL. 082-233-0611(代)

福岡営業所 TEL. 092-441-6715(代)

開発技術センター 〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243

※ 2019年10月29日現在の電話番号です。電話番号は、予告なく変更される場合があります。

※ 電話のかけまちがいにご注意ください。番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いいたします。